

嘉麻市教育委員会 点検・評価報告書

(平成21年度事業分)



嘉麻市指定無形民俗文化財（平山の獅子舞）

平成22年9月

嘉麻市教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定に基づき、平成21年度の教育委員会の点検及び評価を行いましたことを報告します。

嘉麻市教育委員会委員名簿（平成21年度在籍）

平成22年3月31日現在

職名	氏名	任期
委員長	豊福 眸子	平成18年7月4日～平成22年7月3日
委員長職務代理委員	米原 太輔	平成20年8月29日～平成24年8月28日
委員	黒川 朝子	平成21年7月4日～平成25年7月3日
委員	松隈 進	平成19年7月4日～平成23年7月3日
委員兼教育長	山崎 輝男	平成18年8月29日～平成22年8月28日

目次

1 . 教育委員会点検・評価の概要について	P 1
(1) はじめに	
(2) 点検・評価の導入の目的	
(3) 点検・評価する対象	
(4) 点検・評価の方法	
(5) 結果の取扱い	P 2
(6) 嘉麻市教育アクションプラン (平成21年度～平成23年度嘉麻市教育振興基本計画)	
2 . 教育委員会の取組み	P 3
(1) 平成21年度教育委員会実施状況	
(2) 平成21年度教育委員会の会議における議案	P 4
(3) 平成21年度教育委員会の会議における協議	P 5
(4) 平成21年度教育委員会の会議における報告	
(5) 平成21年度教育委員会の会議におけるその他報告	
3 . 各種学校調査の結果	P 7
4 . 事業別評価結果	P 9
重要課題1 確かな学力をはぐくみ、個性や能力を伸ばす学校教育の充実	P 12
重要課題2 豊かな人間性や志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進	P 35
重要課題3 生涯学習社会の実現をめざす社会教育の推進	P 47
重要課題4 いきいきとしたスポーツライフの創造	P 56
重要課題5 人権尊重精神を育成する教育の推進	P 62
重要課題6 特色ある市民文化の創造	P 66
5 . 全体評価結果	P 76
《資料》	P 78
・嘉麻市教育委員会点検評価実施要綱	
・平成22年度嘉麻市教育委員会点検評価委員名簿	

1. 教育委員会点検・評価の概要について

(1) はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）の一部改正により、平成20年4月から、全ての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとなりました。

(2) 点検・評価の導入の目的

教育委員会制度は、首長から独立した合議制の教育委員会が決定する教育行政に関する基本的方針のもと、教育長及び事務局が広範かつ専門的な具体の教育行政事務を執行するものです。

このため、事前に教育委員会が立てた基本方針にそって具体的な教育行政が執行されているかどうかについて、教育委員会自らが事後にチェックする必要があり、教育委員会が地域住民に対する説明責任を果たし、その活動を充実させることが目的です。

(3) 点検・評価する対象

嘉麻市教育教育アクションプラン（平成21年度～平成23年度嘉麻市教育振興基本計画）の事業を対象とします。

(4) 点検・評価の方法

事業ごとに、目的達成度の観点から自己評価を行い、点検・評価の客観性を確保するために第三者評価を行いました。

第三者評価については、教育委員や現場教員・事務局職員等ではない者で、教育に関して公正な意見を述べることを期待できる人を想定し、議会、PTA連合会、社会教育委員、公民館運営審議会、図書館協議会、織田廣喜美術館運営協議会、体育指導委員、文化財保護審議会より推薦を頂いた方に依頼し評価していただきました。

（点検・評価の流れ）

教育委員会事務局（担当課）においてその所管する事務事業等を自己評価
自己評価の結果について評価の客観性を確保するため、嘉麻市教育委員会点検評価委員を設置し、自己評価に対しての評価
教育委員会は評価委員の意見を踏まえ、教育委員会の会議において最終的な点検評価
議会へ報告
議会報告後、速やかにホームページ等で一般公表

(5) 結果の取扱い

この点検・評価においては、事業ごとに4段階【A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要】で評価しており、評価の高い事業については、引き続き実施し、評価の低い事業については課題や問題の解決を行うと同時に事業の見直しについて検討していく予定です。

(6) 嘉麻市教育アクションプラン(平成21年度～平成23年度嘉麻市教育振興基本計画)

嘉麻市教育委員会では平成21年度を初年度とし、平成23年度を目標年度とする3カ年の計画として、嘉麻市における教育の振興のための施策に関し基本的な事項を定めた「嘉麻市教育アクションプラン」を策定しました。

3年間を通じて嘉麻市教育委員会が目指す姿として、次の4つの基本目標を掲げ、教育行政を総合的に推進します。

- 一、 未来を拓く英知と豊かな創造性や個性に富み、社会の一員として公共の精神に基づく強い自覚と実践力のある市民を育成すること
- 一、 真理と正義を愛し、命あるものを尊び、他者を思いやり、共に生きる心や自律心、道徳心を持ち、人権を尊重する市民を育成すること
- 一、 豊かな感性とたくましく生きるための健康や体力に満ちた市民を育成すること
- 一、 文化と伝統を尊重し、それらをはぐくんできたわが国と郷土を愛する態度を養うとともに、人類の平和と繁栄に貢献できる国際性豊かな市民を育成すること

これら4つの基本目標を達成するため、本市教育委員会は、学校教育、社会教育、文化・芸術の各分野について、6つの教育施策の柱とし、その実現に向けて施策を推進しました。

教育施策の6つの柱

1. 確かな学力をはぐくみ、個性や能力を伸ばす学校教育の充実
2. 豊かな人間性や志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進
3. 生涯学習社会の実現をめざす社会教育の推進
4. いきいきとしたスポーツライフの創造
5. 人権尊重精神を育成する教育の推進
6. 特色ある市民文化の創造

今回の点検・評価では、この6つの柱に基づく施策・事業を対象とし点検・評価しました。

* 嘉麻市教育アクションプラン(平成21年度～平成23年度 嘉麻市教育振興基本計画)は以下のホームページにてご覧いただけます。

「嘉麻市教育アクションプラン」

<http://www.city.kama.lg.jp>・・・行政情報(嘉麻市教育委員会)

2. 教育委員会の取組み

(1) 平成21年度教育委員会実施状況

教育委員会は教育長を含む5名の委員で構成され、会議の実施については、原則、定例会が毎月1回、また、臨時会は必要に応じて開催し、教育行政に関する重要事項等を適時適切に慎重に審議しています。教育委員会は嘉麻市教育委員会定例学校訪問実施要項に基づき年次計画で定例学校訪問を実施しています。小中学校を訪問することで、学校教育現場の状況を確認することができ、教育委員の立場から要望など意見を述べました。

平成21年度教育委員会開催実績

・定例会	12回		
・臨時会	3回	計	15回

平成21年度嘉麻市教育委員会学校訪問の実施状況

定例学校訪問（5校）

嘉麻市教育委員会が各学校における学校経営の諸課題を把握するとともに、改善に向けた方向性について協議及び所要の指導・支援を行うことにより学校力を向上させる取り組みです。

実施日：	平成21年10月16日（金）	学校名：	下山田小学校
	平成21年10月28日（水）		足白小学校
	平成21年11月2日（月）		宮野小学校
	平成21年11月11日（水）		稲築西小学校
	平成22年2月9日（火）		大隈小学校

授業充実学校訪問（5校）

筑豊教育事務所が、各学校の人的管理及び運営管理の実情をもとに、授業公開を通して、学力向上に向けた取組の指導・支援を行います。

実施日：	平成21年5月14日（木）	学校名：	牛隈小学校
	平成21年7月2日（木）		稲築東小学校
	平成21年9月17日（木）		嘉穂中学校
	平成21年10月15日（木）		熊ヶ畑小学校
	平成21年10月21日（木）		碓井小学校

研究指定・委嘱校研究発表会（4校）

嘉麻市教育委員会が学校教育の充実と発展を目指して取り組む学校を指定委嘱し、学校教育の充実振興に寄与する取り組みです。

実施日：	平成21年10月30日（金）	学校名：	泉河内小学校
	平成21年11月6日（金）		千手小学校
	平成21年11月13日（金）		稲築中学校
	平成21年10月20日（金）		上山田小学校

(2) 平成21年度教育委員会の会議における議案

番号	議案	開催日
1	嘉麻市体育指導委員の委嘱について(平成21~22年度)	4/7
2	嘉麻市社会教育委員の委嘱について	5/12
3	平成21年度嘉麻市学校評議員の委嘱について	5/12
4	平成21年度嘉麻市学校関係者評価委員の委嘱について	5/12
5	嘉麻市教育アクションプランについて	5/12
6	嘉麻市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則の一部を改正する規則について	5/12
7	嘉麻市嘉穂地区統合小学校候補地の選定方針(案)について	5/12
8	嘉麻市立小中学校におけるホームページ管理運営要綱(案)について	6/2
9	嘉麻市学校応援したい実施要綱(案)について	6/2
10	嘉麻市公民館運営審議会委員の委嘱について	6/2
11	嘉麻市嘉穂地区統合小学校候補地選定方針について	6/2
12	嘉麻市立小・中学校管理規則の一部を改正する規則(案)について	7/8
13	嘉麻市教育員会教育長の事務委任等に関する規程の一部を改正する訓令(案)について	7/8
14	嘉麻市教育委員会点検評価実施要綱(案)について	7/8
15	嘉麻市立織田廣喜美術館運営協議会委員の委嘱について	7/8
16	嘉麻市立図書館協議会委員の委嘱について	7/8
17	嘉麻市教育員会教育委員長の選任について	8/4
18	嘉麻市教育員会教育委員長職務代理者の選任について	8/4
19	平成22年度使用中学校教科用図書の採択について	8/4
20	嘉麻市教育委員会点検評価委員の委嘱について	8/4
21	嘉麻市教育委員会事業点検評価結果(平成20年度事業分)について	9/1
22	嘉麻市嘉穂地区小学校統合施設整備に関する基本計画について	10/6
23	嘉麻市公民館分館長の任命について	10/6
24	嘉麻市嘉穂地区小学校用地選定結果について	12/1
25	嘉麻市立図書館の開館時間及び休館日の見直しについて(諮問)	1/5
26	嘉麻市教育委員会防犯カメラの管理及び運営に関する規則(案)について	1/5
27	嘉麻市成人式補助金交付規程(案)について	1/5
28	嘉麻市社会体育施設等使用料の減免に関する要綱の一部を改正する要綱について	1/5
29	嘉麻市立小・中学校の一日校長の実施に関する要綱(案)について	2/2
30	嘉麻市立嘉穂中学校通学対策費補助金交付規則の一部を改正する規則(案)について	3/1

(3) 平成21年度教育委員会の会議における協議

番号	協 議	開催日
1	嘉麻市立織田廣喜美術館及び嘉麻市立図書館における指定管理者制度導入に関する基本的な考えについて	5/12
2	「2010年非核と平和のつどいin福岡」後援依頼について	2/2

(4) 平成21年度教育委員会の会議における報告

番号	報 告	開催日
1	平成21年度嘉麻市教育委員会事務局の組織について	4/7
2	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について(毎月報告につき以下省略)	4/7
3	嘉麻市立小・中学校の少人数指導(35人学級)について	4/7
4	「千手川の甌穴郡」の福岡県天然記念物の指定について	4/7
5	嘉麻市教育委員会新型インフルエンザ対策本部設置要綱について	5/12
6	財団法人嘉麻市文化スポーツ振興公社の平成20年度事業報告及び決算並びに平成21年度事業計画及び決算について	6/2
7	平成21年度発達障害等支援・特別支援教育総合推進事業について	6/2
8	平成21年度6月補正について	6/2
9	嘉麻市教育委員会例規の改正に伴う臨時代理報告について	7/8
10	嘉麻市温水プールスイミングプラザなつき指定管理者の募集要項について	7/8
11	嘉麻市嘉穂地区小学校統合施設整備連絡調整会議設置要綱について	7/8
12	嘉麻市立小・中学校職員の休暇承認等に関する要綱について	8/4
13	嘉麻市嘉穂地区小学校統合施設整備(答申)について	8/27
14	嘉麻市嘉穂地区小学校統合施設整備に関する基本計画(案)について	8/27
15	平成21年9月補正について	9/1
16	平成21年度全国学力・学習状況調査結果(速報)について	9/1
17	嘉穂地区小学校統合に関する産学官連携促進事業について	9/1
18	嘉麻市学校運動場芝生化実施要綱について	10/6
19	嘉麻市要保護及び準要保護児童生徒援助費並びに特別支援(特別支援学級)就学奨励費交付規程の一部改正について	11/4
20	学校運動場芝生化の申請状況について	11/4
21	嘉麻市社会体育施設条例の一部を改正する条例について	12/1
22	嘉麻市温水プールスイミングプラザなつきの指定管理者の指定について	12/1
23	平成21年12月補正について	12/1
24	稲築鴨生公園内テニスコートの使用休止について	2/2
25	嘉麻市少人数指導特別教員規程の改正に伴う臨時代理報告について	3/1
26	平成22年度当初予算について	3/1
27	嘉麻市嘉穂地区小学校統合施設整備連絡調整会議における専門部会の設置について	3/1

番号	報 告	開催日
25	嘉麻市少人数指導特別教員規程の改正に伴う臨時代理報告について	3/1
26	平成22年度当初予算について	3/1
27	嘉麻市嘉穂地区小学校統合施設整備連絡調整会議における専門部会の設置について	3/1
28	平成22年度教職員の人事(内示)について	3/24
29	嘉麻市立図書館の開館時間及び休館日の見直しについて(答申)	3/24
30	人権・同和問題住民意識調査の結果について	3/24

(5) 平成21年度教育委員会の会議におけるその他報告

番号	その他報告	開催日
1	嘉麻市教育アクションプランの作成状況について	4/7
2	平成21年度嘉麻市教育委員会事業計画表について	4/7
3	名義後援依頼について(毎月報告につき以下省略)	4/7
4	NETモラル映像DVD試写会について	4/7
5	嘉麻市文化財年報2(平成19年度事業の報告)	4/7
6	主幹教諭、指導教諭の職務について	4/7
7	卒業式での式辞、祝辞、告辞について	4/7
8	嘉麻市教育委員会年間スケジュールについて(毎月報告につき以下省略)	5/12
9	平成21年度授業充実学校訪問及び嘉麻市研究指定委嘱校研究発表会の日程	4/23
10	平成21年度福岡県教育センター等応募者数一覧について	7/8
11	学校評議員制度の実態調査について	7/8
12	図書カードの贈呈について	7/8
13	嘉麻市嘉穂地区小学校統合施設整備審議会の経過報告について	8/4
14	嘉麻市教育委員会への寄付について	9/1
15	嘉麻市立織田廣喜美術館運営協議会員の選出母体について	9/1
16	嘉麻市立図書館協議会委員の選出母体について	9/1
17	生涯学習課関係事業等一覧表(10月～11月)について	10/6
18	小学校統合施設整備のスケジュールについて	11/4
19	嘉麻市立小中学校における新型インフルエンザ様疾患(A型認定者)による欠席状況等について	11/4
20	嘉麻市立小中学校における新型インフルエンザ様疾患(A型認定者)による欠席状況等について	12/1
21	平成21年度嘉麻市「私のエッセイ」表彰式について	12/1
22	平成22年嘉麻市成人式について	12/1
23	平成22年度嘉麻市立小中学校の入学式・卒業証書授与式等の期日について	1/5
24	人権・同和教育学習会のご案内について	1/5

番号	その他報告	開催日
25	平成22年度嘉麻市成人式について	1/5
26	2009年度嘉麻市人権教育推進のための調査研究事業人権講演会について	1/5
27	生涯学習課関係事業一覧表(2～3月)	2/2
28	福岡県立嘉穂総合高等学校嘉麻市立大隈城山校授業料等徴収条例の一部を改正する条例について(概要)	3/1
29	平成21年度嘉麻市教育委員会教育実践研究発表会の開催について	3/1
30	離任式と赴任式について	3/24
31	福岡県立嘉穂総合高等学校嘉麻市立大隈城山校授業料等徴収条例第1条第3項における市長が定めるもの	3/24

3. 各種学校調査の結果

嘉麻市内各小中学校における、特別支援介助員・学級支援員等の配置状況をまとめました。平成20年度と比べ、特別支援員や介助員は2名増員、少人数授業補助教員・複式学級解消指導員については、4名増員し、児童・生徒たちの学習支援環境を充実させました。

小中学校(全17校)における、特別支援員等の配置数

NO	点検・評価項目	内 容	H20	H21
1	特別支援学級介助員・特別支援学級支援員の配置	肢体不自由な児童生徒の介助や特別支援学級に在籍する児童生徒の支援を行うために市費で雇用。	8名	8名
2	特別支援教育補助教員の配置	普通学級に在籍している特別支援の必要な児童生徒の指導等を行うために市費で雇用。	4名	6名
3	少人数授業補助教員・複式学級解消指導員の配置	少人数授業の補助や複式学級における指導を行うために市費で雇用。	5名	9名

各小・中学校で行われた、教育課程実施状況及び教育課程編成状況調査(NO . 1 ~ 4)、全国学力・学習状況調査(NO . 5 ~ 9)の設問を取り上げ、学校の取り組み・生徒たちの学習状況等について、平成20・21年度の回答数値を併記して比較しました。

小学校・中学校の調査では、ともにほぼ変わらない状況でしたが、家庭での学習習慣についてが、小学校で2%、中学校で3%減っていました。これについて、年度の違いは学年間の違いと考えられますが、相対的に県や国と比較しても大きく落ち込んでいます。

小学校 12校 *学校・児童調査から ()は平成21年度の県・国の平均値

NO	点検・評価項目	内 容	H20	H21
1	読み書き計算等の習熟	基礎的、基本的な知識や技能の徹底を図る時間を設定している学校	12校	12校
2	組織的な習熟の取組	週時程への位置づけを行っている学校	12校	12校
3	発展的学習	教科学習の時間に発展的な学習を行っている学校	10校	9校
4	きめ細かな指導の実施	少人数指導(チームティーチングを含む)を行った学校	12校	12校
	内訳：分割授業	課題別・習熟度別に分割授業を行った学校	11校	12校
	内訳：非分割授業	チームティーチングによる授業を行った学校	10校	10校
5	食習慣	朝食を毎日食べている児童 (県94.8%、国96.0%)	92.2%	92.0%
6	自己肯定感	自分にはよい所があると思う児童 (県73.6%、国74.6%)	63.7%	70.6%
7	家庭での学習習慣	家で学校の宿題をしている児童 (県95.0%、国95.5%)	93.5%	91.4%
8	携帯電話の使用状況	携帯電話で通話やメールをしている児童 (県23.9%、国23.7%)	32.1%	21.5%
9	読書の習慣	家や図書館での1日あたりの読書時間 (県33分、国33分)	29分	32分

中学校 5校 *学校・生徒調査から ()は平成21年度の県・国の平均値

NO	点検・評価項目	内 容	H20	H21
1	補充指導の実施(1)	朝や放課後における補充指導の実施学校	4校	5校
2	補充指導の実施(2)	長期休業中における補充指導の実施学校	5校	5校
3	きめ細かな指導の実施	少人数指導(チームティーチングを含む)を行った学校	5校	5校
	内訳：分割授業	課題別・習熟度別に分割授業を行った学校	4校	3校
	内訳：非分割授業	チームティーチングによる授業を行った学校	5校	5校
4	食習慣	朝食を毎日食べている生徒 (県91.3%、国92.4%)	89.2%	90.4%
5	自己肯定感	自分にはよい所があると思う生徒 (県58.1%、国61.0%)	42.5%	50.0%
6	家庭での学習習慣	家で学校の宿題をしている生徒 (県82.0%、国83.0%)	71.2%	68.2%
7	携帯電話の使用状況	携帯電話で通話やメールをしている児童 (県53.3%、国54.6%)	53.4%	59.9%
8	読書の習慣	家や図書館での1日あたりの読書時間 (県24分、国25分)	25分	25分

4. 事業別評価結果

重要課題1 確かな学力をはぐくみ、個性や能力を伸ばす学校教育の充実

確かな学力の向上のための取組みの推進	1	35人学級推進事業	B
	2	学校提案型学力向上事業	B
	3	ふくおか学力向上事業推進補助事業	B
	4	研究指定校補助事業	B
	5	学力推進事業	B
	6	教育課程実施状況評価事業	B
個性や能力を伸ばす教育の充実	7	補助教員配置事業	B
	8	発達障がい等支援・特別支援教育総合推進事業	B
社会の変化に対応する教育の充実	9	情報教育支援事業	B
	10	情報機器整備事業	B
	11	英語コミュニケーション能力の育成事業	A
信頼される教員の確保と研修の充実	12	教職員研修事業	B
	13	教職員人事配置事業	B
安心して学べる学校づくりの推進	14	奨学資金貸付事業	C
	15	嘉穂地区小学校統合審議会運営事業	A
	16	嘉穂地区小学校統合施設整備事業	B
	17	学校施設維持管理整備事業	B
	18	学校運動場芝生化事業	C
	19	学校防犯体制整備事業	B
地域に開かれた学校づくりの推進	20	大隈城山校運営事業	A
	21	学校関係者評価事業	B
地域に開かれた学校づくりの推進	22	学校ホームページ開設事業	B
	23	小中一貫教育研究事業	C

重要課題2 豊かな人間性や志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進

道徳性と自立心を養う心の教育の充実	24	道徳教育推進事業	C
	25	キャリア教育推進事業	C
	26	ボランティア活動推進事業	B
健やかな心身をはぐくむ健康教育の充実	27	学校保健事業	A
	28	学校給食事業	B
	29	青少年健全育成事業	B
家庭・地域・学校における読書活動推進	30	読書活動推進事業	C
いじめ・不登校問題等の解決に向けた体制の充実	31	いじめ総合対策推進事業	B
	32	不登校対策事業	C
家庭・地域の教育力を高める支援体制の充実	33	学社連携・融合事業	B
	34	地域教育資源活用事業	B
	35	地域における家庭教育支援基盤形成事業	A

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

重要課題3 生涯学習社会の実現をめざす社会教育の推進

生涯学習関係機関、団体との連携・協力体制の整備	36	社会教育関係団体等育成事業	B
	37	指導者の養成及び各団体の育成、活性化事業	C
	38	ボランティア事業	A
	39	公民館・分館等の連携強化推進事業	B
	40	分館及び自治公民館等活動費補助事業	B
学習機会の提供及び学習成果の活用促進	41	生涯学習推進事業	C
	42	青少年の体験活動推進事業	B
	43	コミュニティ活動支援事業	B
	44	公民館等事業・講座事業	B

重要課題4 いきいきとしたスポーツライフの創造

子どもたちの体力・運動機能向上の推進	45	子どもの体力・運動能力向上事業	B
多様なスポーツ参加機会の充実	46	スポーツ提供事業	B
指導者の養成と活用	47	スポーツを支える人づくり事業	B
既存スポーツ施設の効果的・効率的な管理運営	48	体育施設管理運営事業	C
総合型地域スポーツクラブの育成・支援	49	総合型地域スポーツクラブ支援事業	C
市民主導で運営するスポーツ行事の支援	50	スポーツ団体支援事業	B

重要課題5 人権尊重精神を育成する教育の推進

学校教育における人権教育の推進支援	51	人権教育推進事業	B
社会教育における人権・同和教育の推進・支援	52	人権学習推進事業	C
	53	解放学級育成事業	B
	54	人権教育推進のための調査研究事業	B

重要課題6 特色ある市民文化の創造

文化芸術活動の推進	55	文化芸術活動推進事業	B
図書館の利用促進	56	図書施設運営管理事業	C
	57	読書活動推進事業	B
	58	図書ボランティア養成事業	B
美術館の利用促進	59	美術館運営管理事業	B
	60	企画展事業	A
	61	美術館ボランティア養成事業	A
	62	美術教育普及事業	A
文化財の保護・継承・活用	63	歴史民俗教育普及事業	A
	64	文化財保護事業	B

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

点検評価表の見方

事業名 (予算・決算)	[番号]アクションプランに記載されている事業(担当課:担当係) (予算: 予算額 千円 決算: 決算額 千円)	
目的	事業の目的について記載しています。	
事業内容	どんな事業を行っているのか、実施した内容について記載しています。	
H21年度の課題	21年度事業の課題について記載しています。	
H21年度の課題対処方法	21年度事業の課題について、どのように対処したのか又は解決する方法について記載しています。	
事務局自己評価	<p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>自己評価 ----- ----- ----- ----- </p> <p>【自己評価の根拠】 自己評価に至った理由について記載しています。 評価の指標は、次のとおりです。 A 期待通り B 概ね期待通り C 課題あり D 事業の見直し要</p>	<p>前年の事務局自己評価</p> <p>前年度に点検評価した事業の事務局自己評価を転記しています。</p>
今後の方向性	事業の目標を達成するための方向性について記載しています。	
H22年度の課題	22年度の課題について記載しています。	
『評価委員の意見』		
点検評価会議でいただいた、評価委員の意見を記載しています。		
教育委員会評価	<p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>委員会評価 ----- ----- ----- ----- </p> <p>評価委員の意見を踏まえて、教育委員会が評価します。</p>	<p>前年の評価</p> <p>前年度の教育委員会評価を転記しています。</p>

前年度評価していない事業(新規事業等)は「 」になっています。

前年度評価していない事業(新規事業等)は「 」になっています。

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

重要課題 1 確かな学力をはぐくみ、個性や能力を伸ばす学校教育の充実

(1) 確かな学力の向上のための取組の推進

<p>事業名 (予算・決算)</p>	<p>[1] 35人学級推進事業 (学校教育課：教務係) (予算： 34,478千円 決算： 34,478千円)</p>	
<p>目的</p>	<p>一学級の児童生徒数を35人以下に減らし、より個に応じた指導を行うことによって、生徒指導の充実、学力を向上させるよう努めます。</p>	
<p>事業内容</p>	<p>4小学校に5名、3中学校に4名の少人数指導特別教員を配置し、小学校の35人学級の完全実施及び中学校の少人数指導を推進しています。 (平成21年度新規事業)</p>	
<p>H21年度の課題</p>	<p>優秀な講師を確保することが難しい。</p>	
<p>H21年度の課題対処方法</p>	<p>優秀な講師については、年度末から学校長に働きかけをしてもらうとともに、できるだけ早い時期に連絡を入れ、確保していくようにしています。</p>	
<p>事務局自己評価</p>	<p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>自己評価 -----●----- </p> <p>【自己評価の根拠】 35人学級を実施することにより、問題行動が減少するなど、生活面で落ち着きが出てきています。このことが学習面でも効果を表し、学力テスト等でポイントが上昇している学校もでてきていますが、嘉麻市の平均点は福岡県の平均点を下回っている状況です。少人数指導特別教員については、県職員並みの身分保障の実施、学校長からの働きかけもあり、早い時期から動くことができ、かなり優秀な人材を確保することができました。</p>	<p>前年の事務局自己評価</p> <p style="text-align: center;">-</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>生活面での落ち着きが学力向上につながるよう、今後も個に応じた指導を継続していきます。また、筑豊教育事務所管内の講師全体に対するの広報活動を実施し、優秀な講師の確保に努めていきたいと思います。</p>	
<p>H22年度の課題</p>	<p>児童生徒の異動があるため、35人前後の学級については生徒数が確定するまで講師の割当ができず、保留の学校への講師の割当が難しいことです。</p>	
<p>『評価委員の意見』 先進的な事業なので、A評価にしてもいいと思う。</p>		
<p>教育委員会評価</p> <p style="text-align: center;">委員会評価 A B C D</p> <p> -----●----- </p>		<p>前年の評価</p> <p style="text-align: center;">-</p>

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

事業名 (予算・決算)	[2] 学校提案型学力向上事業 (学校教育課：教務係) (予算： 1, 2 0 0 千円 決算： 1, 2 0 0 千円)	
目 的	学校提案による教育課程外の事業を実施することにより、各学校・地域等の活性化を図り、学力を向上させるよう努めます。	
事業内容	学校提案による学校外補習学習事業を、2 小学校、2 中学校を選考し実施しました。 (平成 2 1 年度新規事業)	
H 2 1 年度の課題	4 校 (下山田小・牛隈小・山田中・嘉穂中) を選考し、学校独自の方法で実施していくことです。	
H 2 1 年度の課題対処方法	学校の特徴を生かした事業を選考し、補習授業等の助言指導を行いました。	
事務局自己評価	<div style="text-align: center;"> A B C D 自己評価 -----●----- </div> <p>【自己評価の根拠】 夏季、冬季休業中に、卒業生や地域ボランティアによる補習学習を行いました。申請校 7 校から 4 校を選考し、結果を H P で公表しました。</p>	前年の事務局自己評価 -
今後の方向性	学力向上に向けた学校独自の事業の実施校を増やし、継続し、そのことを H P で市民に公表することで、市全体での学力向上の機運を盛り上げていきます。	
H 2 2 年度の課題	各学校の特徴を生かした積極的な取組が見られ、成果もあがっています。その成果を市全体に広げていく必要があるため、対象校を 4 校から 8 校に増やします。	
『評価委員の意見』 評価委員の意見はありませんでした。		
教育委員会評価 <div style="text-align: center;"> 委員会評価 A B C D -----●----- </div>		前年の評価 -

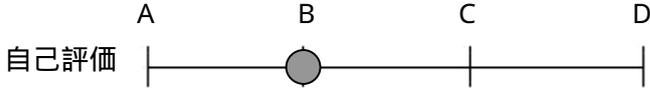
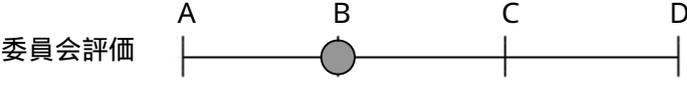
A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

事業名 (予算・決算)	[3] ふくおか学力向上事業推進補助事業 (学校教育課：教務係) (予算： 680千円 決算： 680千円)	
目的	児童生徒の学力、学習状況等をふまえた学力向上に関する基本方針、施策や施策評価を行うとともに、諸施策の円滑かつ効果的な推進、意見交換を行うことにより、学力向上を図ります。	
事業内容	小学校3校(稲築西小・稲築東小・碓井小) 中学校1校(山田中)を学力向上推進校として、学力向上プランを策定し、実施しました。嘉麻市教育研究所と連携し、指導技術研修会や学力向上研修会等を実施しました。家庭との連携を深め、「新家庭教育宣言」運動を全小、中学校で実施しています。 (平成20年度からの3年間の県の補助事業)	
H21年度の課題	学力向上推進校4校を中心に、その成果を嘉麻市全体に広げていくこと。	
H21年度の課題対処方法	嘉麻市学力向上推進協議会や嘉麻市学力向上コーディネーター協議会を実施し、各学校における有効な実践を交流し、広げていきました。	
事務局自己評価	<div style="text-align: center;"> A B C D 自己評価 -----●----- </div> <p>【自己評価の根拠】 市全体での学力向上研修会を開催し、市内全教職員の学力向上に向けた実践の意識化を図ることができました。しかし、授業改善に向けた意欲に、個人差・学校差が見られましたので、更に継続、充実を図る必要があると考えています。</p>	前年の事務局自己評価 A
今後の方向性	学力向上に向けた授業改善を促すとともに、家庭学習の手引等を作成し、市内全域へ取組を進めていきます。	
H22年度の課題	学力向上に向けた教師の授業改善に向けた意欲に、個人差・学校差が見られるため、研修会の実施や学校への指導を行い、学力向上に向け各学校の足並みが揃うよう取り組んでいきます。	
『評価委員の意見』 評価委員の意見はありませんでした。		
教育委員会評価 委員会評価 -----●-----		前年の評価 C

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

事業名 (予算・決算)	[4] 研究指定校補助事業 (学校教育課 : 教務係) (予算 : 1,800千円 決算 : 1,800千円)	
目的	研究指定事業を通して、教職員の実践的指導力の向上を図るとともに、一人一人の資質の向上に向けた研修等への参加支援体制の整備を図ります。	
事業内容	研究指定校を2ヵ年事業として、毎年小学校2校、中学校1校を委嘱し、2年次に研究発表を行いました。	
H 2 1 年度 の課題	計画的、継続的な研究の充実。	
H 2 1 年度 の課題対処 方法	専門的な指導主事の配置と、その活用を推進するとともに、福岡県教育センター等への研修を奨励しています。	
事務局 自己評価	<div style="text-align: center;"> A B C D 自己評価 -----●----- </div> <p>【自己評価の根拠】 校内研究が活性化され、研究発表を行うことで教職員の実践的指導力の向上が図られています。しかし、学校間の意識格差があり、計画的・継続的に実施している学校とそうでない学校では、指導主事の活用状況、授業改善の質に差が出ていますので、教職員の意識改革を求めてまいります。</p>	前年の 事務局 自己評価 A
今後の 方向性	学校長の校内研修による授業改善の意識が高まるように働きかけを行うとともに、大学教授等を講師にした研修会の実施を促していきます。	
H 2 2 年度 の課題	計画的・継続的な研修の実施に対して、学校間で差があるため、研修等への参加支援体制の整備を図ります。	
『評価委員の意見』 評価委員の意見はありませんでした。		
教育委員会評価 委員会評価		前年の評価 A

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

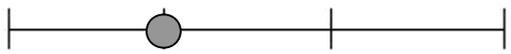
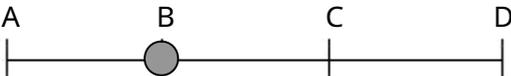
事業名 (予算・決算)	[5] 学力向上推進事業 (学校教育課：教務係) (予算： 4, 3 4 2 千円 決算： 4, 1 2 8 千円)	
目的	児童生徒の実態を把握・分析し、課題を明らかにして学校内の組織的な取組の改善を図り、自ら学び考えるなどの確かな学力を育む教育の充実を図ることです。	
事業内容	学力実態調査を実施し、嘉麻市内の児童生徒の実態を把握し、分析を行いました。	
H 2 1 年度の課題	各学校が自校の児童生徒の学力実態をていねいに分析するとともに、学力向上への組織的な取り組みに繋いでいくことです。	
H 2 1 年度の課題対処方法	校長会議等での実態把握や、課題の整理、又は組織的な取組の交流等を行いました。	
事務局自己評価	<div style="text-align: center;">  </div> <p>【自己評価の根拠】 学力実態調査から課題を整理し、学期ごとに取組の評価を行い、次への改善に繋いでいる学校が増え、学力向上に向けた組織的な取組が見られました。取組みのよさを継続発展させることや、効果の低い取組みを思い切って他の方法に変えること等、更なる充実が必要です。</p>	前年の事務局自己評価 A
今後の方向性	学力実態調査から、更に細かく課題を整理することなどを継続して行っていきます。	
H 2 2 年度の課題	学力実態調査の結果を日々の授業改善に結び付けていくことです。	
『評価委員の意見』 評価委員の意見はありませんでした。		
教育委員会評価 <div style="text-align: center;">  </div>		前年の評価 C

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

事業名 (予算・決算)	[6] 教育課程実施状況評価事業 (学校教育課 : 教務係) (予算 : 0 千円 決算 : 0 千円)	
目的	学校教育の目的や目標を達成するために学校において編成・実施される教育課程について、各学校の実態に応じた教育活動が行われるよう指導助言を行うことです。	
事業内容	各学校の実態に応じた教育活動が行われるよう指導助言を行いました。	
H 2 1 年度の課題	平成 2 3 年度の小学校、平成 2 4 年度の中学校の新学習指導要領の完全実施に向け、新学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程を編成し、円滑に移行を進めていくことです。	
H 2 1 年度の課題対処方法	嘉麻市教務主任研修会を実施し、教育課程の編成や教育指導計画書の作成等についての指導を行いました。	
事務局自己評価	<div style="text-align: center;"> A B C D 自己評価 -----●----- </div> <p>【自己評価の根拠】 新学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程の編成について指導助言を行い、成果も出てきていますが、各教科・領域のカリキュラムについて、今後も指導助言が必要です。</p>	前年の事務局自己評価 -
今後の方向性	教務主任研修会等を定期的実施し、教務主任の職能成長を図り、適切な教育課程マネジメントを促していきます。	
H 2 2 年度の課題	新教育課程に向けた各教科・領域における適切なカリキュラムを作成することです。	
『評価委員の意見』 教務主任研修等の充実を図り、今年度は A 評価になるようにしてもらいたい。		
教育委員会評価 <div style="text-align: center;"> 委員会評価 A B C D -----●----- </div>		前年の評価 -

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

(2)個性や能力を伸ばす教育の充実

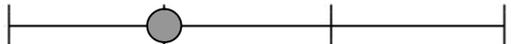
<p>事業名 (予算・決算)</p>	<p>[7] 補助教員配置事業(学校教育課:教務係) (予算: 33,781千円 決算: 33,781千円)</p>	
<p>目的</p>	<p>特別支援教員充実のための特別支援教育補助教員(普通学級に在籍している支援が必要な児童の補助) 特別支援学級介助員(肢体不自由の児童の介助) 特別支援学級支援員(特別支援教室に在籍する児童の補助)を配置し、一人ひとりのニーズに応じた教育条件の整備を図ります。</p>	
<p>事業内容</p>	<p>特別支援教育補助教員6名、特別支援学級介助員4名、特別支援学級支援員4名を配置し、一人ひとりのニーズに応じた特別支援教育を行います。</p>	
<p>H21年度の課題</p>	<p>優秀な人材の確保と、特別支援教育に対する理解。</p>	
<p>H21年度の課題対処方法</p>	<p>少人数学級特別教員との関連を図り、早い時期から人材確保を行いました。 特別支援教育の基礎的な理解を図る研修会を実施しました。</p>	
<p>事務局自己評価</p>	<p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>自己評価 </p> <p>【自己評価の根拠】 各学校の要望に応じた補助教員、介助員、支援員を配置することができました。各学校では、一人ひとりのニーズにあった独自の取組みが進められていますが、専門的な講師による研修会の実施など、更なる充実が必要です。</p>	<p>前年の事務局自己評価</p> <p style="text-align: center;">A</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>早い時期に特別支援教育の研修会を実施し、基礎的な理解を図るとともに、学校訪問等で個別の指導を行っていきます。 優秀な人材を確保するために、早めに対応を行います。</p>	
<p>H22年度の課題</p>	<p>補助教員、支援員、介助員の特別支援教育についての正しい知識と対応のあり方に個人差があるため、特別支援教育の研修会を実施し、基礎的な理解を図ります。</p>	
<p>『評価委員の意見』 自己評価はBだが、特別支援教育の成果は出ているのでA評価にしていいと思う。 嘉穂特別支援学校もあるので、そのすばらしさも伝えてもらいたい。 この事業は、嘉麻市独自のものであるのも、もっとアピールしてほしい。</p>		
<p>教育委員会評価</p> <p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>委員会評価 </p>		<p>前年の評価</p> <p style="text-align: center;">A</p>

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

事業名 (予算・決算)	[8] 発達障がい等支援・特別支援教育総合推進事業 (学校教育課：教務係) (予算： 0 千円 決算： 0 千円) 県補助金 7 4 8 千円	
目的	保育所(園)・幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校における特別支援教育を総合的に推進することです。	
事業内容	特別支援教育連携協議会の開催、巡回相談の実施等、発達障害を含む障害のある幼児児童生徒を支援しています。 (平成21年度新規事業。単年度継続の補助事業。)	
H 2 1 年度 の課題	就学前(保育園等)との連携。	
H 2 1 年度 の課題対処 方法	研修会の実施や協議会を立ち上げ、情報を共有できる場を設けました。	
事務局 自己評価	<div style="text-align: center;"> A B C D 自己評価 -----●----- </div> <p>【自己評価の根拠】 新規事業のため、実施開始が遅れ、特別支援教育研修会が年度末になり、3割程度の参加になりました。特別支援教育コーディネーター等協議会の実施により、各学校の状況を把握することができ、課題が明らかになりました。</p>	前年の 事務局 自己評価 -
今後の 方向性	小・中学校だけでなく、就学前においても巡回相談を実施していきます。 嘉麻市特別支援教育研修会を実施したり、昨年度作成したパンフレットを活用したりして、特別支援教育の基礎的な理解を図るとともに、特別支援教育についての啓発を行っていきます。	
H 2 2 年度 の課題	健康課やこども育成課等と連携し、就学前・小・中学校の連携を深め、一貫した特別支援教育の推進を図ります。	
『評価委員の意見』 評価委員の意見はありませんでした。		
教育委員会評価	<div style="text-align: center;"> A B C D 委員会評価 -----●----- </div>	前年の評価 -

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

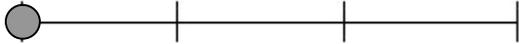
(3) 社会の変化に対応する教育の充実

<p>事業名 (予算・決算)</p>	<p>[9] 情報教育支援事業(情報教育支援教員配置)(学校教育課:教務係) (予算: 2,410千円 決算: 2,410千円)</p>	
<p>目的</p>	<p>児童生徒がコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を積極的かつ適切に活用できるようにするため、情報教育の充実を図ります。</p>	
<p>事業内容</p>	<p>教育研究所に情報教育支援教員を1名配置し、児童生徒の発達段階に応じた情報活用能力の育成、情報モラル教育を行いました。</p>	
<p>H21年度の課題</p>	<p>情報活用能力の育成と情報モラル教育の推進。</p>	
<p>H21年度の課題対処方法</p>	<p>情報教育(情報機器の活用ならび情報モラル教育)を広めています。保護者(PTA)や地域への情報モラル研修会を行いました。市内全学校での情報化を促進しています。</p>	
<p>事務局自己評価</p>	<p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>自己評価 </p> <p>【自己評価の根拠】 市内ほぼ全学校で情報化の支援を行いました。しかしながら、全学校の児童生徒を対象にすることは情報教育支援教員1名では困難です。教員の情報活用力の育成や教員の授業等を支援するサポート体制作りが必要です。</p>	<p>前年の事務局自己評価</p> <p style="text-align: center;">C</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>新しい学習指導要領に対応した情報機器の活用や情報モラル等の授業を行い、教員の情報活用能力の向上を図っていきます。また、各学校への情報教育の授業者として関わりを深め、全国の情報化サポート体制を検証していきます。</p>	
<p>H22年度の課題</p>	<p>学校の情報化を進めるため、全学校でのサポート体制を作ります。サポート体制として新たな人材の配属(ICT支援員4名)ならび情報教育推進協議会活動の活性化を促します。</p>	
<p>『評価委員の意見』 情報モラル教育は学校の先生だけでは大変なので、家庭にも協力してもらい対策をとってほしい。 子どもたちの方が進んでいるので、教員にもしっかり研修してほしい。 企業とも連携をとって情報教育について予防してほしい。</p>		
<p>教育委員会評価</p> <p style="text-align: center;">委員会評価</p> <p style="text-align: center;">A B C D</p> <p></p>		<p>前年の評価</p> <p style="text-align: center;">C</p>

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

事業名 (予算・決算)	[10] 情報機器整備事業 (教育総務課：庶務係) (予算： 117,525千円 決算： 99,779千円)	
目的	嘉麻市内の学校に情報機器を整備し、児童生徒、教員の情報活用能力の育成、及び学習活動の充実を図ること。	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育用PCの配置及び校務用PCの配置 ・ 情報セキュリティ支援 (USB貸与) ・ 地上デジタル化対策 	
H21年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育用PCの配置 (児童、生徒3.6人/台) ・ 校務用PCの配置 (教員1人/台) ・ 校内LANの整備を促進すること ・ 予算の確保 ・ 教職員の活用能力の向上をはかること 	
H21年度の課題対処方法	学校ICT支援補助金を利用し、予算の確保に努め、平成22年度繰越事業として、教育用PC (児童、生徒3.6人/台) 校務用PC (教員1人/台) 配置しました。 地上デジタル化対策として市内小中学校及び大隈城山校等学校にデジタルテレビを配置しました。	
事務局自己評価	<div style="text-align: center;"> <p>A B C D</p> <p>自己評価 -----●----- </p> </div> <p>【自己評価の根拠】 情報機器の整備については、ほぼ基準を満たすことができました。しかしながら、今後この情報機器を利用した学習活動が積極的に実施されるよう教職員に対し、研修会等を開催する必要があります。</p>	前年の事務局自己評価 C
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員に対し、PCの研修会を実施し、活用能力の向上に努めていきます。 	
H22年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員によるPCの利用促進 ・ 教職員の情報セキュリティの意識の向上 	
<p>『評価委員の意見』</p> <p>評価委員の意見はありませんでした。</p>		
教育委員会評価		前年の評価 C
委員会評価	<div style="text-align: center;"> <p>A B C D</p> <p> -----●----- </p> </div>	

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

<p>事業名 (予算・決算)</p>	<p>[1 1] 英語コミュニケーション能力の育成事業 (学校教育課：教務係) (予算： 17,855千円 決算： 17,855千円)</p>	
<p>目的</p>	<p>言語や文化についての体験的に理解を深め、英語によるコミュニケーション能力を養い国際感覚を身に付けさせることです。</p>	
<p>事業内容</p>	<p>国際的な共通語として英語によるコミュニケーション能力の育成や文化についての体験的理解を深めることを目的として、外国語指導助手（ALT）による外国語活動の充実を図ります。</p>	
<p>H 2 1 年度の課題</p>	<p>平成 2 3 年度の新学習指導要領の完全実施にむけて、教職員の指導力を高めます。</p>	
<p>H 2 1 年度の課題対処方法</p>	<p>移行措置期間に入る平成 2 1 年度は 1 名増員し、ALT を活用した小学校での外国語活動の時間を増やし、共に指導することで、教職員の指導力を向上させました。</p>	
<p>事務局自己評価</p>	<p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>自己評価 </p> <p>【自己評価の根拠】 ALT の 1 名増員（全 4 名）により、小・中学校における外国語教育の充実を図ることができました。また、小学校教員を対象に、嘉麻市独自の研修会を実施し、外国語活動の充実に向けた指導力の向上を図ることができました。</p>	<p>前年の事務局自己評価</p> <p style="text-align: center;">A</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>小学校の外国語活動の充実に向け、更に ALT を 1 名増員します。</p>	
<p>H 2 2 年度の課題</p>	<p>小学校の外国語活動の授業を充実させます。</p>	
<p>『評価委員の意見』</p> <p>評価委員の意見はありませんでした。</p>		
<p>教育委員会評価</p> <p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>委員会評価 </p>		<p>前年の評価</p> <p style="text-align: center;">A</p>

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

(4) 信頼される教員の確保と研修の充実

<p>事業名 (予算・決算)</p>	<p>[12] 教職員研修事業 (学校教育課：教務係) (予算： 0千円 決算： 0千円)</p>	
<p>目的</p>	<p>教職員及び教育研究団体等の教育研究を奨励するとともに、県、市及び各種の教育研究指定・委嘱校をはじめ、各校の研究助成を積極的に行い、校内研究の活性化を図り、教職員の資質向上に努めます。</p>	
<p>事業内容</p>	<p>教職員研修、授業充実研修、専門研修の実施。校内研修における指導助言を行いました。</p>	
<p>H21年度の課題</p>	<p>教師一人一人の授業改善に向けた実践的指導力の向上。</p>	
<p>H21年度の課題対処方法</p>	<p>指導主事の活用による授業を通じた教師一人一人の授業改善を図りました。</p>	
<p>事務局自己評価</p>	<p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>自己評価 -----●----- </p> <p>【自己評価の根拠】 指導主事の活用により、計画的・継続的に授業改善を進めていく学校が6割程度で、日常的な活用が少ない傾向にあるので更なる充実が必要です。</p>	<p>前年の事務局自己評価</p> <p style="text-align: center;">-</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>公開授業の日程を集約、積極的に学校訪問し、指導を行いました。また、5年経過未満の教員の授業力向上に向けた、指導を行っていきます。教育センターに指導主事を配置し、教職員研修はすべて教育センターで実施できるよう取り組みます。</p>	
<p>H22年度の課題</p>	<p>教育研究所を教育センターに改め、教職員研修の更なる充実に努めます。</p>	
<p>『評価委員の意見』</p> <p>評価委員の意見はありませんでした。</p>		
<p>教育委員会評価</p>	<p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>委員会評価 -----●----- </p>	<p>前年の評価</p> <p style="text-align: center;">-</p>

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

事業名 (予算・決算)	[1 3] 教職員人事配置事業 (学校教育課 : 教務係) (予算 : 0 千円 決算 : 0 千円)	
目 的	教職員の交流を図り、人事の適正化を進めます。また、地域の実態を踏まえ、学校間格差をなくす人事配置を実施すること。さらに小・中学校連携の推進の観点から小・中学校の人事交流を行っていきます。	
事業内容	地域の実態を踏まえ、学校間格差をなくす人事配置を実施し、小・中学校の人事交流を行いました。	
H 2 1 年度 の課題	人事配置による学校改善に向けた学校長の具体的なビジョンと学校体制作り。	
H 2 1 年度 の課題対処 方法	学校長からのヒアリングを参考に、学校改善に向けた計画にできるだけ沿った人事配置を行いました。	
事務局 自己評価	<div style="text-align: center;"> A B C D 自己評価 -----●----- </div> <p>【自己評価の根拠】 教員構成の熟年化が進む中、初任者を 8 名配置することができ、活性化の兆しがみえました。保護者が期待する資質のある教職員の育成については、今後も検討が必要です。</p>	前年の 事務局 自己評価 -
今後の 方向性	学校改善に向け、計画的な人事配置を行うとともに、教師一人一人の指導力量を高めていくように支援していきます。	
H 2 2 年度 の課題	年齢構成のバランスに配慮した人事配置が必要です。	
『評価委員の意見』 嘉麻市は独自でメンタル面のケアをしていると聞いたので、良い取組みだと思う。 授業力、生活指導力のある教師の育成が重要。 「しつけ」も学校で指導すべきという風潮があるが、家庭で行うべきである。		
教育委員会評価 <div style="text-align: center;"> A B C D 委員会評価 -----●----- </div>		前年の評価 -

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

(5) 安心して学べる学校づくりの推進

事業名 (予算・決算)	[14] 奨学資金貸付事業 (教育総務課：庶務係) (予算： 26,848千円 決算： 25,843千円)	
目的	経済的理由による就学困難者の負担の軽減を図ることです。	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 嘉麻市奨学資金貸与に関する業務 (貸与中の人数：54人) ・ 嘉麻市奨学資金返還に関する業務 (返還中の人数：138人) ・ 福岡県財団奨学金申請受付業務 ・ 地域改善対策奨学資金返還免除申請受付 (受付件数：311件) 	
H21年度の課題	・ 奨学資金返還の収納率を向上させること。	
H21年度の課題対処方法	・ 滞納者への督促及び臨戸訪問を実施しました。	
事務局自己評価	<p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>自己評価 ----- -----●----- </p> <p>【自己評価の根拠】 奨学金返還の収納率が、昨年度より3.7ポイント低下しました。(収納率H20年度49.1%、H21年度45.4%)</p>	<p>前年の事務局自己評価</p> <p style="text-align: center;">A</p>
今後の方向性	・ 資力のある滞納者への法的措置を含めた徴収の強化を図っていきます。	
H22年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 嘉麻市奨学資金の事務効率化を図るために、データを整理し、平成23年度にシステムの運用開始を行います。 ・ 引き続き徴収率の強化を図る。 	
『評価委員の意見』		
評価委員の意見はありませんでした。		
教育委員会評価	<p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>委員会評価 ----- -----●----- </p>	<p>前年の評価</p> <p style="text-align: center;">C</p>

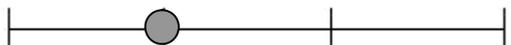
A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

事業名 (予算・決算)	[1 5] 嘉穂地区小学校統合審議会運営事業 (開校準備室) (予算 : 1,391千円 決算 : 457千円)	
目的	嘉穂地区の5小学校(大隈小、宮野小、足白小、千手小及び泉河内小)を1つの新設小学校に統合するために、統合小学校の施設整備等について議論するために、PTA及び地域代表者により構成される審議会を円滑に運営することです。	
事業内容	平成20年9月 「統合小学校施設整備の内容」について審議会に諮問、平成21年8月に答申をいただきました。 ・施設整備の内容について協議 審議会委員 (審議委員12名・専門委員10名 計22名) 審議会開催回数 11回(平成20年9月開始)	
H21年度の課題	事務の効率化	
H21年度の課題対処方法	効率的かつ効果的な事務により事業を行いました。	
事務局自己評価	<div style="text-align: center;"> A B C D 自己評価 ●————— ————— ————— ————— </div> <p>【自己評価の根拠】 平成21年8月に答申をいただくことができ、これを尊重し、平成21年10月に「嘉穂地区小学校統合施設整備に関する基本計画」を作成することができました。</p>	前年の事務局自己評価 B
今後の方向性	嘉穂地区統合小学校施設の基本設計、学校名、通学対策、跡地活用、校章・校歌等について、審議会 で方向性を決定していきます。	
H22年度の課題	施設基本設計、学校名の選定手法、通学対策の具体的手法について審議していきます。	
『評価委員の意見』 評価委員の意見はありませんでした。		
教育委員会評価 委員会評価 ●————— ————— ————— —————		前年の評価 B

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

事業名 (予算・決算)	[16] 嘉穂地区小学校統合施設整備事業(開校準備室) (予算: 6,489千円 決算: 6,489千円)	
目的	嘉穂地区にある5小学校を1つに統合するため、嘉穂地区小学校統合施設(統合小学校)の具体的な整備を行うことです。	
事業内容	用地取得業務 9筆 約26,000㎡ *現在地権者からは内諾をいただいています。 設計業務 測量設計・各種申請業務を外部委託し、統合小学校の基本設計・実施設計を行います。	
H21年度の課題	用地選定、設計開始	
H21年度の課題対処方法	用地費及び設計費については、市議会に説明を行い予算の議決いただいています。これに基づき用地交渉や設計業務発注を行いました。	
事務局自己評価	A B C D 自己評価 -----●-----	前年の事務局自己評価 -
今後の方向性	スケジュールの遅れを取り戻すために事務の迅速化と各種申請業務決定機関との連携強化を図りたいと思います。	
H22年度の課題	用地取得及び実施設計を年度内に完了させることが課題です。	
『評価委員の意見』 嘉穂地区小学校にはプールがないので、ぜひ作ってほしい。 嘉麻市になって最初の大規模工事であり、子どものために素晴らしい学校建設を行ってほしい。 スクールバス等の通学対策は大変だと思うが、頑張してほしい。		
教育委員会評価	A B C D 委員会評価 -----●-----	前年の評価 -

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

<p>事業名 (予算・決算)</p>	<p>[17] 学校施設維持管理整備事業 (教育総務課：庶務係) (予算： 483,954千円 決算： 290,828千円) 情報機器整備事業費 (予算 36,698千円：決算 36,698千円) を含む</p>	
<p>目的</p>	<p>すべての児童、生徒が安心して学習に取り組むことができる校舎等の維持管理を行い、快適な教育環境の整備を図ることです。</p>	
<p>事業内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> 市内小、中学校 17校 (小学校 12校、中学校 5校) の施設整備及び維持管理 施設修繕数 (小学校：208件 中学校：140件) 施設工事数 (小学校：10件 中学校 6件) 耐震補強工事 (大隈小学校、泉河内小学校) 耐震診断及び設計 (宮野小学校、足白小学校、千手小学校) 施設維持管理業務委託 (草刈、清掃、樹木剪定、浄化槽維持管理、電算機器保守等) 牛隈小については、耐震診断にて補強工事不要 	
<p>H21年度の課題</p>	<p>耐震化事業を推進することです。</p>	
<p>H21年度の課題対処方法</p>	<p>小中学校の耐震診断を終了しました。</p>	
<p>事務局自己評価</p>	<p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>自己評価 </p> <p>【自己評価の根拠】 耐震化については、診断が全て完了し、平成22年度には、補強工事も全て完了する予定です。 今後は、老朽化の著しい学校については、大規模改修工事等を行い、施設の維持に努める必要があります。</p>	<p>前年の事務局自己評価</p> <p style="text-align: center;">B</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>各学校の維持補修工事の要望も含め、優先順位を考慮し、年次的に施設の維持修繕及び大規模改修工事を進めていく予定です。</p>	
<p>H22年度の課題</p>	<p>予算執行事務の効率化</p>	
<p>『評価委員の意見』</p> <p>評価委員の意見はありませんでした。</p>		
<p>教育委員会評価</p> <p>委員会評価 </p>		<p>前年の評価</p> <p style="text-align: center;">B</p>

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

事業名 (予算・決算)	[1 8] 運動場芝生化事業 (教育総務課：教育企画係) (予算： 0千円 決算： 0千円)	
目的	市長マニフェストに基づき、子どもたちがより積極的に外で楽しくスポーツができる環境を整備し、子どもたちの体力向上及び地域コミュニティの活性化に寄与する場として、嘉麻市立小・中学校の運動場を芝生化することです。	
事業内容	学校運動場芝生化に向けて、「芝生化検討会議」を設置し、天然芝・人工芝についての調査研究を行いました。	
H 2 1 年度の課題	芝生化実施に向けての財源確保研究 天然芝と人工芝の選定と維持管理の手法研究	
H 2 1 年度の課題対処方法	芝生化検討会議 8回開催 H 2 1 . 1 0 . 2 2 天然芝視察 (百道浜小学校・北勢門小学校) H 2 2 . 2 . 2 3 人工芝視察 (東福岡高校・福岡大学)	
事務局自己評価	<div style="text-align: center;"> A B C D 自己評価 ----- -----●----- </div> <p>【自己評価の根拠】 学校運動場芝生化の長所・短所等について一定レベルの整理ができました。具体的な取り組みについては大きな財源投入が必要であり未だ実施できていません。</p>	前年の事務局自己評価 -
今後の方向性	芝生の整備と維持にかかる財源を確保する方法を協議します。効率的な維持管理の手法について、調査研究をすすめます。	
H 2 2 年度の課題	実施校とともに、芝生化できるよう調査研究を進めます。 実施については、大きな財源と全小中学校に影響を及ぼす事業であるため市長部局と協議し決定する必要があります。	
『評価委員の意見』 天然芝を整備する場合は、P T A や地域に維持管理の協力要請したほうがいい。田舎に芝はなじまない。芝生より、教室に冷房の整備等を優先させた方がよいのでは。芝生にすると怪我が少なくなるが、運動場を駐車場として使用できなくなる。		
教育委員会評価 委員会評価 ----- -----●-----		前年の評価 -

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

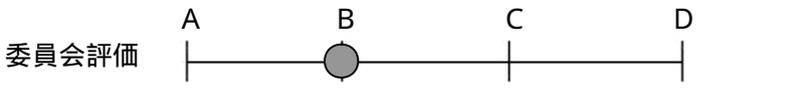
事業名 (予算・決算)	[19] 学校防犯体制整備事業 (学校教育課：教務係) (予算： 4,564千円 決算： 4,438千円)	
目的	児童生徒の安全管理のため、学校安全に関する取り組みの充実を図ります。	
事業内容	学校支援員(警察OB)を配置し、警察等関係機関と連携して生徒指導上の支援を行っています。地域学校安全推進員(スクールガードリーダー)による校内の定期的な巡回や見守り、安全マップの作成、防犯メールの配信により、学校の安全体制の整備充実を図りました。	
H21年度の課題	スクールガードリーダーについては、市内の小中学校全校配置と人材の確保。防犯メールについては周知・普及。	
H21年度の課題対処方法	推進員の増員及び予算の獲得と広報を行いました。	
事務局自己評価	<div style="text-align: center;"> A B C D 自己評価 -----●----- </div> <p>【自己評価の根拠】 スクールガードリーダーの増員や防犯メールの全校実施により、学校防犯体制の整備は進んでいます。学校支援員と警察等関係機関との連携により、迅速な生徒指導対応ができました。 しかし、不審者事案が後を絶たないため、保護者の安心を得るまでには至っておらず、防犯体制の更なる充実が必要です。</p>	前年の事務局自己評価 B
今後の方向性	生徒指導問題や不審者の増加など、防犯体制の更なる充実が必要であり、今後も引き続き学校安全に関する取組を継続します。また、防犯メールの普及により、地域への防犯意識を深めていきます。	
H22年度の課題	不審者対応及び通学路の安全確保等、学校・地域が一体となった防犯体制を整備していきます。	
『評価委員の意見』 評価委員の意見はありませんでした。		
教育委員会評価 委員会評価 -----●-----		前年の評価 B

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

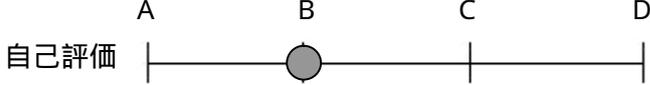
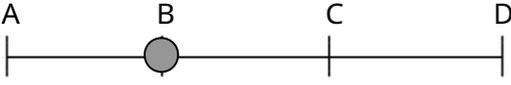
事業名 (予算・決算)	[2 0] 大隈城山校運営事業 (教育総務課：庶務係) (予算： 1 5 , 3 8 2 千円 決算： 1 1 , 6 2 2 千円) 情報機器整備事業費 (予算 1,876 千円：決算 1,876 千円) を含む	
目 的	すべての生徒が安心して、学習に取り組めるように、校舎等の維持管理を行い、快適な教育環境の整備を図ることです。	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大隈城山校の施設整備及び維持管理 (建築年度：昭和 6 1 年度) 施設修繕数 (7 件) 地上デジタル化 ・事務職員及び非常勤講師の雇用 生徒数 (定員 1 2 0 人 在校生： 8 4 人) 	
H 2 1 年度 の課題	施設の老朽化に伴う施設の維持管理	
H 2 1 年度 の課題対処 方法	年次的に修理を行っています。	
事務局 自己評価	<div style="text-align: center;"> A B C D 自己評価 ●————— ————— ————— ————— </div> <p>【自己評価の根拠】 地上デジタル化の整備を行い、計画通りに維持補修できました。</p>	前年の 事務局 自己評価 A
今後の 方向性	施設が老朽化しているため、今後も必要に応じて年次的に修理を行っていきます。	
H 2 2 年度 の課題	公立高等学校授業料不徴収に伴う国からの補助率が 1 0 0 % ではないため、市の負担が大きくなることが課題です。	
『評価委員の意見』 評価委員の意見はありませんでした。		
教育委員会評価 委員会評価 ●————— ————— ————— —————		前年の評価 A

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

(6)地域に開かれた学校づくりの推進

事業名 (予算・決算)	[2 1] 学校関係者評価事業 (学校教育課：教務係) (予算： 1, 0 4 7 千円 決算： 3 0 0 千円)	
目的	教育活動等の成果の検証とその客観性・透明性の確保を通じて学校運営の改善と発展を目指します。	
事業内容	保護者、地域住民等の連携強化のために学校関係者評価を全校で実施し、評価結果を公表しています。 (平成21年度新規事業)	
H21年度の課題	学校評議員、学校関係者評価委員の人選及び謝礼。	
H21年度の課題対処方法	学校関係者評価委員の謝礼を予算化しました。	
事務局自己評価	 <p>【自己評価の根拠】 すべての学校で学校関係者評価が実施・公表・報告が行われました。運営の在り方や公表の方法等、更なる工夫が必要である。</p>	前年の事務局自己評価 -
今後の方向性	年度初めにおける学校経営方針等の保護者等への周知や、学校関係者評価の結果の公表について、HPを活用するなどの工夫が必要です。	
H22年度の課題	学校評価の計画的な実施と、適切な方法、時期での公表・報告。	
『評価委員の意見』 評価委員の意見はありませんでした。		
教育委員会評価		前年の評価 -

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

事業名 (予算・決算)	[2 2] 学校ホームページ開設事業 (教育総務課：教育企画係) (予算： 4 8 0 千円 決算： 4 8 0 千円)	
目 的	学校関係者評価結果などの様々な学校情報を公表し開かれた学校運営を行うとともに学校のICT化を進めるために全学校のホームページを開設することです。	
事業内容	嘉麻市内小中学校 (全 1 7 校) が、学校情報を公開し開かれた学校経営を行うための一つの手段として学校HPを開設することについて、教育委員会はこのHP開設にあたり、技術的又は経費的な支援を行います。 平成 2 1 年度当初 全 1 7 校中 1 0 校が未作成 平成 2 1 年度末 全 1 7 校中 1 7 校が作成	
H 2 1 年度 の課題	全校HPを開設します。	
H 2 1 年度 の課題対処 方法	HP作成のためHP掲載サイトの作成及び情報教育支援員を配置し学校を支援しました。	
事務局 自己評価	<div style="text-align: center;">  <p>自己評価</p> <p>【自己評価の根拠】 全 1 7 校HP開設する目標は達成できましたが、掲載内容、掲載レベルに差があります。これらの解消が必要です。</p> </div>	前年の 事務局 自己評価 B
今後の 方向性	ICT支援員を平成 2 2 年度に 4 人雇用しています。ICT支援員のスキルを活用し職員のスキルアップをはかり、学校の情報を公開できるようにします。	
H 2 2 年度 の課題	HPを開設・更新できるよう職員のスキルアップを図ることが必要です。	
『評価委員の意見』 評価委員の意見はありませんでした。		
教育委員会評価 委員会評価 <div style="text-align: center;">  </div>		前年の評価 B

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

(7)小中一貫教育への取り組み

事業名 (予算・決算)	[2 3] 小中一貫教育研究事業 (学校教育課：教務係) (予算： 0 千円 決算： 0 千円)	
目 的	研究開発校や構造改革特区における小中一貫教育の取り組みの成果を踏まえつつ、カリキュラム区分の弾力化など小中間の連携・接続を改善するための仕組みについて種々の観点に配慮しつつ十分に研究していきます。	
事業内容	小中間の教職員の人事交流や共同研究を通して、小中連携を推進しています。 (平成21年度新規事業)	
H 2 1 年度 の課題	小中間の教職員の人事交流や共同研究を行います。	
H 2 1 年度 の課題対処 方法	小中間の教職員の人事交流、授業交流を行います。	
事務局 自己評価	<div style="text-align: center;"> A B C D 自己評価 ----- -----●----- </div> <p>【自己評価の根拠】 人事交流や授業交流を通して、小中一貫教育に取り組む予定でしたが、積極的な交流を行うことができませんでした。 教職員の意識を高めたり、今できる小中連携から始める必要があります。</p>	前年の 事務局 自己評価 -
今後の 方向性	先進校の事例等を積極的に紹介し、意識改革を図るとともに、特別支援教育や不登校予防など、多方面から小中連携・一貫の展開を図ります。	
H 2 2 年度 の課題	小中連携・一貫に向けた管理職及び教職員の理解が必要です。	
『評価委員の意見』 評価委員の意見はありませんでした。		
教育委員会評価 委員会評価 ----- -----●-----		前年の評価 -

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

重要課題2 豊かな人間性や志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進

(1) 道徳性と自立心を養う心の教育の充実

<p>事業名 (予算・決算)</p>	<p>[2 4] 道徳教育推進事業 (学校教育課：教務係) (予算： 0 千円 決算： 0 千円)</p>	
<p>目的</p>	<p>学校における道徳の時間の充実を図るとともに、家庭や地域社会との連携を図りながら、豊かな自然・社会体験を通して児童生徒の内面に根差した道徳性の育成を図ります。</p>	
<p>事業内容</p>	<p>学校における道徳の時間の充実を図るとともに、家庭や地域社会との連携を図りました。</p>	
<p>H 2 1 年度 の課題</p>	<p>道徳教育の副読本の整備と活用 心のノートの活用</p>	
<p>H 2 1 年度 の課題対処 方法</p>	<p>道徳教育の副読本の整備状況を把握し、早急に整備していきます。 道徳の公開授業の実施を促していきます。</p>	
<p>事務局 自己評価</p>	<p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>自己評価 ----- -----●----- </p> <p>【自己評価の根拠】 道徳の時間は確実に実施できましたが、道徳教育の副読本の整備状況の改善が十分でなく、児童生徒の発達段階に適した道徳教育の実施に差が見られます。今後更なる充実が必要であると考えています。</p>	<p>前年の 事務局 自己評価</p> <p style="text-align: center;">-</p>
<p>今後の 方向性</p>	<p>道徳教育の副読本の整備を促すとともに、新学習指導要領の完全実施に合わせて全校に整備していきます。</p>	
<p>H 2 2 年度 の課題</p>	<p>道徳の授業の保護者への学習参観の実施。</p>	
<p>『評価委員の意見』 戦前の修身とは別の、今の時代にふさわしい道徳教育を進めていってほしい。</p>		
<p>教育委員会評価</p> <p style="text-align: center;">委員会評価 A B C D</p> <p style="text-align: center;"> ----- -----●----- </p>		<p>前年の評価</p> <p style="text-align: center;">-</p>

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

事業名 (予算・決算)	[2 5] キャリア教育推進事業 (学校教育課：教務係) (予算： 0千円 決算： 0千円)	
目 的	家庭や地域と連携して、職業・職場体験活動等を行い、児童生徒一人ひとりのキャリア発達を支援し、望ましい勤労観、職業観を育てます。	
事業内容	市内3中学校で、総合的な学習の時間の中で、職場体験を実施しました。	
H 2 1 年度 の課題	全中学校での実施。	
H 2 1 年度 の課題対処 方法	総合的な学習の時間のカリキュラムを見直す中で、職業・職場体験学習の位置付けを促しました。	
事務局 自己評価	<div style="text-align: center;"> A B C D 自己評価 ----- -----●----- </div> <p>【自己評価の根拠】 職場体験学習として、3校が実施し、目的に沿った成果がでている一方、体験場所の地域内での掘起しには検討の余地があり、地域とのつながりがまだ薄い状況です。 また、望ましい勤労観・職業観を育てるには、小学校からの積み上げが必要です。</p>	前年の 事務局 自己評価 -
今後の 方向性	生徒自らが体験場所を探し、交渉して実施するなど、自分の力で探究していく力を付けていくような学習になるようにしていきます。	
H 2 2 年度 の課題	実施校が4校になりましたが、実施日数等の減少がみられました。	
『評価委員の意見』 評価委員の意見はありませんでした。		
教育委員会評価 委員会評価	<div style="text-align: center;"> A B C D 委員会評価 ----- -----●----- </div>	前年の評価 -

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

事業名 (予算・決算)	[26] ボランティア活動推進事業(学校教育課:教務係) (予算: 0千円 決算: 0千円)	
目的	家庭や地域社会と連携して、児童生徒が他の人々や社会のために役立つとともに自分が価値のある存在であることを実感し、よりよく生きるための道徳的実践力の育成を図ります。	
事業内容	市内全小中学校において、ボランティア活動を計画的に実施しました。	
H21年度の課題	各学校独自で計画・実施しており、家庭や地域社会と連携した実施状況に差があります。	
H21年度の課題対処方法	地域社会の活動と連動させたボランティア活動の計画を促しました。	
事務局自己評価	<div style="text-align: center;"> A B C D 自己評価 -----●----- </div> <p>【自己評価の根拠】 各学校の特色を活かしたボランティア活動の実施が定着してきていますが、まだ、地域の活動と連携する等改善の余地もあります。</p>	前年の事務局自己評価 -
今後の方向性	地域社会の活動と連動したボランティア活動の実施を推進していきます。	
H22年度の課題	各学校のボランティア活動の実施状況・内容を正確に把握する。	
『評価委員の意見』 評価委員の意見はありませんでした。		
教育委員会評価 <div style="text-align: center;"> A B C D 委員会評価 -----●----- </div>		前年の評価 -

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

(2) 健やかな心身をはぐくむ健康教育の充実

事業名 (予算・決算)	[27] 学校保健事業(学校教育課:教務係) (予算: 22,919千円 決算: 21,763千円)	
目的	家庭、地域及び関係機関等の連携・協力により、児童生徒及び教職員の心身両面にわたる健康管理の徹底を図ります。	
事業内容	児童生徒、教職員の健康診断を実施。市内の小中学校に学校医、学校歯科医、学校薬剤師を配置し、児童生徒の保健、安全に関する指導を行いました。 各学校において学校保健・安全に関する年間計画を作成し、適切に実施するよう指導助言を行いました。	
H21年度の課題	日常的・継続的な学校保健、学校安全教育・管理の推進。	
H21年度の課題対処方法	学校保健計画、学校安全計画の作成・実施により、養護教諭や保健主事を中心とした日常的な学校保健、及び学校安全を充実させました。	
事務局自己評価	<p>【自己評価の根拠】 学校保健安全法に定められた健康診断を実施し、市内の小中学校に学校医、学校歯科医、学校薬剤師を配置しており、児童生徒、教職員の健康増進が図られています。</p>	前年の事務局自己評価 A
今後の方向性	法令により実施しているものであり、今後も引続き実施していきます。	
H22年度の課題	未受診者への対応など、学校医との協力体制を確立していく必要があります。	
『評価委員の意見』 生活習慣が夜型にならないよう、PTAと連携し「早寝・早起き・朝ごはん」などの取り組みを実施してほしい。		
教育委員会評価	<p>委員会評価</p>	前年の評価 A

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

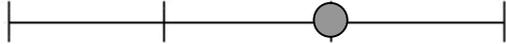
事業名 (予算・決算)	[2 8] 学校給食事業 (学校教育課：学校給食係) (予算： 2 3 5 , 8 8 5 千円 決算： 2 1 3 , 6 2 5 千円)	
目 的	学校給食を受ける児童生徒等が、安心・安全・確実な給食を食べられる。また、児童生徒が食に関する正しい理解と、適切な判断力を養います。	
事業内容	学校給食は、児童生徒の健康の増進、体位、体力の向上に資するとともに、食事をとおして児童生徒に生きた知識や、望ましい生活態度を習得させる学習の場であり、嘉麻市内全小中学校において完全給食を行いました。また、21年度より学校給食運営審議会答申に基づき、給食費の統一を図り、年間給食回数も185回を基準に実施し、1日平均3,815食の調理提供を行いました。	
H 2 1 年度 の課題	事業実施する上で運営方法など、直営または民営、自校方式またはセンター方式等の検討。 給食費の収納率向上及び法的手段の取組への検討が必要です。	
H 2 1 年度 の課題対処 方法	運営方法等の検討が出来ていません。 収納率向上に向け夜間徴収を行いました。収納率は96.44%と前年を下回りました。また、支払督促前の督促状を高額滞納者12名に送付し4名より分納誓約書の提出を受けています。運営方法等の検討について、現在の職員体制では厳しい状況でもあります。	
事務局 自己評価	<div style="text-align: center;"> A B C D 自己評価 -----●----- </div> <p>【自己評価の根拠】 年間185回の給食を1日平均3,815食、延べ70万5千食提供し、安心、安全な給食を確実に実施できたことは評価できるものです。また、賄材料費1億7千百万円の支払や、1億5千2百万円の給食費管理を行いました。しかし、収納率は96.44%と2年続けて低下しています。(H20年の収納率は、96.55%)</p>	前年の 事務局 自己評価 A
今後の 方向性	学校給食法第4条、義務教育諸学校の設置者の義務であり、これに基づく学校給食施設の維持管理及び給食の実施について、今後も必要です。食育の充実を図り、併せて地産地消の推進。	
H 2 2 年度 の課題	保護者の公平な給食費負担を目指し、収納率向上に努める。しかし、滞納繰越分を優先し収納すると、現年度分の収納率が厳しくなることも事実です。 地産地消の推進を継続し、利用率の向上を目指したい。	
『評価委員の意見』 自校式給食の方が、調理の場や調理員との交流があるので良いと思う。地産地消にも今まで以上に取り組んでほしい。		
教育委員会評価 委員会評価		前年の評価 C

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

事業名 (予算・決算)	[2 9] 青少年健全育成事業 (生涯学習課：社会教育係) (予算： 1, 1 0 2 千円 決算： 1, 1 6 1 千円)	
目 的	青少年の健全育成のための啓発活動ならびに事業推進と補導関係者及び公的機関との協力を図り青少年の非行防止に努めます。	
事業内容	情報の収集・交換並びに関係機関と連携し、少年補導委員連絡協議会会議年6回、各支部の補導委員が補導活動として、年間延べ150回、巡回・街頭指導等を実施。	
H 2 1 年度 の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・次期委嘱に向け、中堅層の補導委員の確保 (次期委嘱期間：平成22・23年度の2ヶ年) ・補導委員全体の情報の共有化と資質向上 	
H 2 1 年度 の課題対処 方法	<ul style="list-style-type: none"> ・補導委員の確保については、平成22年度から嘉麻警察署少年補導員と兼務職となり、また補導委員の高齢化の問題から、嘉麻警察署生活安全課と連携、調整しながら地域の人材発掘を行い、次期補導委員の確保に努めました。 ・補導委員の資質の向上については、市内の青少年関係団体との合同全体研修会を開催し、青少年の現状、問題点など情報の共有化等共通認識を深めることができました。 	
事務局 自己評価	<div style="text-align: center;"> A B C D 自己評価 -----●----- </div> <p>【自己評価の根拠】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中堅層の次期補導委員について、警察署とも協議し確保に努めましたが自営業等で時間のとれる数名にとどまり多数の確保が困難でした。 ・合同研修会の開催と他青少年関係団体との交流ができ、青少年問題等の共通認識が図れました。 ・補導委員の謝礼を市規定の費用弁償額に合わせ、若干ではありますが増額いたしました。 	前年の 事務局 自己評価 B
今後の 方向性	嘉麻警察署生活安全課と連携を密に補導委員を委嘱し、補導活動を継続します。	
H 2 2 年度 の課題	平成22年度福岡県警察本部所管警察署の再編に伴い、飯塚警察署所管の稲築地区警察補導員が嘉麻警察署に統合されました。市少年相談センターが委嘱する補導委員は2ヶ年間、この警察補導員と兼務するため今後、地域割の補導委員数等嘉麻警察署と再検討する必要があります。	
『評価委員の意見』 評価委員の意見はありませんでした。		
教育委員会評価 委員会評価 A B C D -----●-----		前年の評価 B

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

(3) 家庭・地域・学校における読書活動推進

<p>事業名 (予算・決算)</p>	<p>[30] 読書活動推進事業(学校教育課:教務係) (予算: 13,251千円 決算: 13,251千円)</p>	
<p>目的</p>	<p>児童生徒の学習や読書意欲を高めるため、市立図書館や嘉麻市学校図書館協議会等との連携を図りながら、学校図書館の整備や図書司書機能の充実に努めるとともに、組織的、継続的な読書活動の推進に努めます。</p>	
<p>事業内容</p>	<p>図書館の管理運営、図書教育の指導補助、図書の受け入れ、貸し出し業務、書架の整理、廃棄業務、教科用図書関係事務等を行うため、図書司書9名を配置し、学校図書館の整備、充実を図っています。</p>	
<p>H21年度の課題</p>	<p>地区によって図書司書の配置が異なるため、利活用が不十分です。 (山田地区1名、稲築地区4名、碓井地区2名、嘉穂地区2名)</p>	
<p>H21年度の課題対処方法</p>	<p>言語活動の充実を目指す新学習指導要領において、学校図書館の利活用は強く求められており、そのためには各学校1名の図書司書を配置し、司書教諭と連携しながら効率的・機能的な図書館運営を進められるようにします。</p>	
<p>事務局自己評価</p>	<p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>自己評価 </p> <p>【自己評価の根拠】 朝読書や読み聞かせ等の読書活動を行なっていますが、図書司書の配置校と未配置校での学校図書館の整備状況・活用状況に差があります。また、司書の増員もできませんでした。</p>	<p>前年の事務局自己評価</p> <p style="text-align: center;">B</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>すべての学校に図書司書を配置し、司書教諭と連携しながら効率的・機能的な図書館運営を進められるようにします。</p>	
<p>H22年度の課題</p>	<p>図書司書を増員したが、まだ未配置校があるため、各学校1名の図書司書配置を目指します。</p>	
<p>『評価委員の意見』</p> <p>評価委員の意見はありませんでした。</p>		
<p>教育委員会評価</p> <p style="text-align: center;">委員会評価 </p>		<p>前年の評価</p> <p style="text-align: center;">C</p>

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

(4)いじめ・不登校問題等の解決に向けた体制の充実

<p>事業名 (予算・決算)</p>	<p>[31]いじめ総合対策推進事業(学校教育課:教務係) (予算: 0千円 決算: 0千円) 県の補助事業</p>	
<p>目的</p>	<p>いじめ問題の未然防止、早期発見、早期対応に向け、スクールカウンセラーの配置や教育相談室の設置を行い、いじめ問題の解決を図ります。</p>	
<p>事業内容</p>	<p>スクールカウンセラーの配置や教育相談室の設置を行い、いじめ問題の解決を図っています。</p>	
<p>H21年度の課題</p>	<p>いじめ総合対策に基づいた年度初め、1学期中の職員研修の実施に学校差があります。</p>	
<p>H21年度の課題対処方法</p>	<p>学期ごとの取組状況調査などを基に、早期発見・早期対応に向けた指導を行いました。</p>	
<p>事務局自己評価</p>	<p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>自己評価 -----●----- </p> <p>【自己評価の根拠】 いじめの認知件数は少ないですが、ほとんどの場合、認知時には早期発見・早期対応ができています。認知されていないいじめの実態もあるという認識を持ち、総合的な対策の推進に努めてまいります。</p>	<p>前年の事務局自己評価</p> <p style="text-align: center;">-</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>被害者の児童生徒の立場に立って、いじめの早期発見・早期対応に向けた組織的な取組を充実させていきます。</p>	
<p>H22年度の課題</p>	<p>いじめの早期発見・早期対応についての繰返しの共通理解を深めます。</p>	
<p>『評価委員の意見』</p> <p>評価委員の意見はありませんでした。</p>		
<p>教育委員会評価</p> <p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>委員会評価 -----●----- </p>		<p>前年の評価</p> <p style="text-align: center;">-</p>

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

事業名 (予算・決算)	[3 2] 不登校対策事業 (学校教育課：教務係) (予算： 2, 4 1 0 千円 決算： 2, 4 1 0 千円)	
目的	不登校児童・生徒の学校復帰または適応指導教室への通級を支援します。	
事業内容	ひきこもり訪問指導員 1 名を配置し、学校復帰または適応指導教室 (レストピア) への通級を支援しています。	
H 2 1 年度 の課題	増加傾向にある不登校率。 嘉麻市小学校 0 . 8 6 % (全国 0 . 3 4 %) 中学校 5 . 5 9 % (全国 2 . 9 1 %)	
H 2 1 年度 の課題対処 方法	学校においてはマンツーマン方式の実施など未然防止に向けた組織的な対応を図るとともに、嘉麻市教育研究所適応指導教室と連携し、不登校の解消を目指します。 訪問指導員の増員により、更にきめ細かな活動を行いました。	
事務局 自己評価	<div style="text-align: center;"> A B C D 自己評価 ----- -----●----- </div> <p>【自己評価の根拠】</p> <p>学校からの要請のあった児童生徒に対しては、関係機関や適応指導教室と訪問指導員が連携しながら対応していますが、重度になってからの要請が多い傾向 (平成 2 1 年度は 1 0 5 名) にあります。</p> <p>不登校児童・生徒は増加傾向にあり、該当児童すべてにきめ細かな指導を行うことができませんでした。</p>	前年の 事務局 自己評価 A
今後の 方向性	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置、訪問指導員を 1 名増加し、嘉麻市教育研究所適応指導教室と連携しながら、不登校の解消・改善を図ります。小・中学校が連携し、中 1 ギャップを解消していきます。	
H 2 2 年度 の課題	学校からの早めの派遣要請と、校内の教職員の体制作り。 小・中学校の接続の問題を解消すべく、小・中学校で交流授業を行うなど各中学校区における小・中学校の連携を強化します。 教育研究所を教育センターに改め、スクールカウンセラー等の専門知識を持った職員を配置することで、不登校対策を充実させます。	
『評価委員の意見』 不登校者数 1 0 5 名は多い。 不登校の子どもと一緒に、親もカウンセラーに相談等できるようにしたいと思う。		
教育委員会評価 委員会評価 ----- -----●-----		前年の評価 C

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

(5) 家庭・地域の教育力を高める支援体制の充実

事業名 (予算・決算)	[33] 学社連携・融合事業 (学校教育課: 教務係) (予算: 0千円 決算: 0千円)	
目的	郷土を愛する豊かな心を育てるために、郷土を知り、住民とのふれあいに努め、地域の教育力を活用するとともに学校教育との連携を図り、地域全体で子どもを育てることです。	
事業内容	学校に学・社連携の担当者をおき、学校教育・社会教育の相互連携を図っています。	
H21年度の課題	すべての学校の校務分掌に学・社連携の担当者を位置付けます。	
H21年度の課題対処方法	既存の校務分掌を活用した位置付けを行うようにします。	
事務局自己評価	<div style="text-align: center;"> <p>A B C D</p> </div> <p>【自己評価の根拠】 学校に学・社連携の担当者をおき、学校教育・社会教育の相互連携を図っています。しかし、学校間での取り組みに差があり、改善の必要があります。</p>	前年の事務局自己評価 -
今後の方向性	各学校における体験活動等におけるボランティアの活用など、学社連携した実践を展開していきます。	
H22年度の課題	学社連携した実践の更なる充実を目指します。	
『評価委員の意見』 評価委員の意見はありませんでした。		
教育委員会評価	<div style="text-align: center;"> <p>A B C D</p> </div> <p>委員会評価</p>	前年の評価 -

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

事業名 (予算・決算)	[3 4] 地域教育資源活用事業 (学校教育課：教務係) (予算： 8 8 5 千円 決算： 5 7 6 千円)	
目的	学習指導要領の趣旨を踏まえ、各学校の創意を生かした教育課程を編成し、地域社会の現状を踏まえ、児童生徒の学習に協力することのできる地域の人材や施設を生かし、教育活動を行います。	
事業内容	地域のひと・もの・ことを活用した教育活動を展開します。	
H 2 1 年度 の課題	新学習指導要領の趣旨に沿った総合的な学習の時間の年間指導計画の見直し・作成を行います。	
H 2 1 年度 の課題対処 方法	総合的な学習の時間の趣旨を踏まえ、地域のひと・もの・ことの活用を工夫して、年間指導計画の見直しを指導しました。	
事務局 自己評価	<div style="text-align: center;"> A B C D 自己評価 -----●----- </div> <p>【自己評価の根拠】 ほとんどの小学校においては、各学校の特色にあわせて地域教育資源を活用した学習が行われています。中学校での教育資源の活用については、今後の課題となっています。</p>	前年の 事務局 自己評価 -
今後の 方向性	新学習指導要領の趣旨に沿った総合的な学習の時間の年間指導計画の作成・実施をしていきます。	
H 2 2 年度 の課題	小学校においては、更なる活動の充実。 中学校においては、適切な総合的な学習の時間の年間指導計画の作成。	
『評価委員の意見』 評価委員の意見はありませんでした。		
教育委員会評価 委員会評価		前年の評価 -

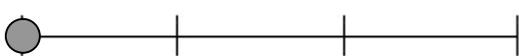
A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

<p>事業名 (予算・決算)</p>	<p>[3 5] 地域における家庭教育支援基盤形成事業 (生涯学習課：社会教育係) (予算： 8 6 7 千円 決算： 8 8 8 千円)</p>	
<p>目 的</p>	<p>保護者の育児不安やストレスの軽減、家庭教育の向上を図ります。</p>	
<p>事業内容</p>	<p>【ママのためのはじめの子育て講座：はじめのはじめのいっぽ事業】 保護者の悩み等負担を軽減し、仲間づくりを通して子育てのネットワーク化と家庭教育の向上を目的としています。 平成21年度 年3回/延べ154人の参加</p> <p>【思春期、学童期子育て講座：CAP大人のセミナー事業】 現代、子どもを取り巻くメディア等の劣悪な環境は、子どもたちの生活を激変させるほどの影響を及ぼしています。このことから、メディアのみならず子どもの安全について保護者が真剣に向き合わなければなりません。こうした保護者向けの啓発事業として本事業を実施しました。 平成21年度 1回/20人の参加</p>	
<p>H21年度の課題</p>	<p>限られた予算でどのように事業を実施するか。</p>	
<p>H21年度の課題対処方法</p>	<p>対象地域を絞った方法と関係機関のご協力により、予算内で事業が実施できました。</p>	
<p>事務局自己評価</p>	<p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>自己評価 ●————— ————— ————— ————— </p> <p>【自己評価の根拠】 社会教育法の改正で家庭教育支援が明確化され、教育アクションプランにも明記し実施しています。ただし、国からの補助が廃止されたため、予算の範囲内で4地区を巡回(年毎)する形で実施しています。 事業内容は、参加者からも好評で社会福祉協議会、筑豊助産師ネット等関係機関とも連携し事業内容が充実しました。</p>	<p>前年の事務局自己評価</p> <p style="text-align: center;">A</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>家庭教育の支援は必要であり、教育アクションプランに基づきに継続し、実施します。</p>	
<p>H22年度の課題</p>	<p>関係機関と更に連携を図るため、同類の事業を実施している事業所等と情報を交換し、効果的な取り組みができるよう協議体制を強化いたします。 また、事業の周知については、回覧・広報紙掲載だけではなく、当該者に事業の周知徹底が図れるようダイレクトメールを送付いたします。 なお、予算措置については、次年度以降、経費等を精査し必要な予算を計上していきたいと考えます。</p>	
<p>『評価委員の意見』 評価委員の意見はありませんでした。</p>		
<p>教育委員会評価</p> <p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>委員会評価 ●————— ————— ————— ————— </p>		<p>前年の評価</p> <p style="text-align: center;">A</p>

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

重要課題3 生涯学習社会の実現をめざす社会教育の推進

(1)生涯学習関係機関、団体との連携・協力体制の整備

<p>事業名 (予算・決算)</p>	<p>[3 6] 社会教育関係団体等育成事業 (生涯学習課：社会教育係) (予算： 7,966千円 決算： 7,966千円)</p>	
<p>目 的</p>	<p>社会教育団体組織の自主運営や活動が円滑となり、住民主体の地域づくりを目指します。</p>	
<p>事業内容</p>	<p>子ども会指導者連合会、文化協会、青少年育成住民会議、PTA連合会の自主運営や活動が円滑となるよう支援し連携します。 ・組織運営、事務処理が円滑に進むよう指導、助言を行います。 ・各種事業実施に向けて連絡調整並びに支援を行います。 ・その他、団体の求めに応じ適正な支援を行います。</p>	
<p>H 2 1 年度 の課題</p>	<p>各種団体の自主・自立活動と人材の育成</p>	
<p>H 2 1 年度 の課題対処 方法</p>	<p>各種団体に対し、統一した指導・助言のもとに、組織運営や活動内容に応じた支援を行いました。</p>	
<p>事務局 自己評価</p>	<p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>自己評価 </p> <p>【自己評価の根拠】 各団体に統一した支援内容で対応しましたが、団体毎に振興度合い温度差があり、自主的な運営に差異があります。しかしながら、合併当初から見ると組織体制も確立し、主体的に会の運営と事業の展開が図られつつあります。</p>	<p>前年の 事務局 自己評価</p> <p style="text-align: center;">A</p>
<p>今後の 方向性</p>	<p>協働（協同）のまちづくりを進めるうえで、今後も各団体が主体的に運営出来るよう支援と連携強化を図ります。</p>	
<p>H 2 2 年度 の課題</p>	<p>主体的な組織運営が確立していないため、人材育成も含め、今後とも指導・助言を行ない、少しでも自主的活動が活発になるよう支援していきます。また、各団体の存在価値、活動内容が市民により一層、周知できるよう市広報紙並びにマスコミに事業の開催、結果等をアピールしていきます。</p>	
<p>『評価委員の意見』 大きな団体には優れた人材がたくさんいるので、後継者の育成に力をいれてほしい。</p>		
<p>教育委員会評価</p> <p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>委員会評価 </p>		<p>前年の評価</p> <p style="text-align: center;">A</p>

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

<p>事業名 (予算・決算)</p>	<p>[3 7] 指導者の養成及び各団体の育成、活性化事業 (生涯学習課：社会教育係) (予算： 8,430千円 決算： 8,124千円)</p>	
<p>目的</p>	<p>市民が自主的に活動でき、生涯学習の推進や住民主体の地域づくりを促進に努めます。</p>	
<p>事業内容</p>	<p>団体の申請に基づき、稲築吹奏楽団、青少年育成住民会議、憶良まつり短歌会、いなつき山笠、民俗的伝統行事保存団体3団体(碓井地区：飯田地蔵祭り、西郷奉納すもう、上臼井神楽まつり)、子ども会、嘉麻市文化協会、PTA連合会、少年の船の11団体に補助金を交付します。また、各団体の指導者等を対象とした人材養成研修会を開催し資質の向上を図ります。</p>	
<p>H21年度の課題</p>	<p>補助金交付基準の見直し</p>	
<p>H21年度の課題対処方法</p>	<p>補助金交付基準要綱の策定</p>	
<p>事務局自己評価</p>	<p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>自己評価 </p> <p>【自己評価の根拠】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者等養成研修会を企画、検討中です。 ・平成21年度、交付基準要綱の策定には至りませんでした。 ・各団体とも自己財源の確保に努め、活発に活動しており、生涯学習の推進に尽力されています。 	<p>前年の事務局自己評価</p> <p style="text-align: center;">A</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>早期に補助金交付基準要綱の策定し、公平公正な補助金の交付を行います。また合わせて指導者等養成研修会を企画し人材の育成に努めます。</p>	
<p>H22年度の課題</p>	<p>団体の自主活動に対する補助金の役割は大きく、公平公正な補助が出来るよう早期に補助金交付基準要綱を策定したいと考えます。ただし、市全体での補助金交付基準を策定する動きもあるため、協議・調整を図りながら着手していきます。</p> <p>また、団体活動の考え方や取り組みの方向性、地域力の向上等を目的に団体会員を対象とした指導者養成研修会を実施いたします。</p>	
<p>『評価委員の意見』</p> <p>地域の伝統行事が退化しないよう、後継者の育成の支援をしてほしい。 補助金交付団体が合併前のままなので、早急に見直しが必要。 補助金が交付されている団体とされていない団体とあるので不公平である。 補助金の交付基準を明確にしてもらいたい。 後継者育成等の活動に地域活動指導員を活用してはどうか。</p>		
<p>教育委員会評価</p>	<p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>委員会評価 </p>	<p>前年の評価</p> <p style="text-align: center;">A</p>

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

事業名 (予算・決算)	[3 8] ボランティア事業 (生涯学習課：社会教育係) (予算： 3, 8 9 5 千円 決算： 3, 8 9 5 千円)	
目 的	知識、技能、資格等を有する人に人材バンクに登録してもらい、生涯学習活動支援や地域づくりに貢献いただきます。	
事業内容	<p>市民の生涯学習活動を支援するために、仕事や趣味などを通じて身につけた知識・技術・資格等を有する人に名簿登録してもらい、学校や地域のあらゆる活動場で、その培った経験、技術等を活かし地域に還元する「知の循環型社会」の構築を目的としています。なお、社会教育係に配置されている地域活動指導員が人材の発掘、ボランティア活用依頼先とのコーディネートを行っています。</p> <p>人材登録469名(85団体)、人材派遣(年105回)や事業の周知ならびに登録者の資質向上のため研修会を開催します。</p>	
H 2 1 年度 の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・地域・公民館等関係機関との連携 ・ボランティア人材バンク事業の周知と有効な活用 	
H 2 1 年度 の課題対処 方法	行政区長会等会議時に事業の説明を行い、また市内全地域へ人材バンクニュース(チラシ)の配布など、市民の生涯学習活動の支援につながるよう努めました。	
事務局 自己評価	<div style="text-align: center;"> <p>自己評価 -----●----- </p> </div> <p>【自己評価の根拠】 人材バンクニュース(チラシ)の発行やボランティア活動記録を公の施設に定期的に掲示し事業の周知を図りました。このことにより、問合せならびに新たな登録者、活用が増えるなど、ある一定の効果があつたと考えられます。 しかしながら、公民館等関係機関との連携、情報交換が不十分でした。</p>	前年の 事務局 自己評価 <div style="text-align: center;">A</div>
今後の 方向性	学校・地域・公民館等と更に連携を密にし、事業の拡大を図ります。	
H 2 2 年度 の課題	ボランティア登録者の高齢化もあり、新たな人材の発掘に努めなければならないと考えます。このためにも、公民館、社会福祉協議会等の関係機関と情報の共有化や担当者会議の開催など積極的に連携を強化する必要があります。また、ボランティア登録者の保有資格等が詳細に記載されていなかったため要綱を改正し、学校をはじめ各方面からのより細かな要請(活用)に応えられるよう保有資格要件を整理します。	
『評価委員の意見』 評価委員の意見はありませんでした。		
教育委員会評価 <div style="text-align: center;"> <p>委員会評価 -----●----- </p> </div>		前年の評価 <div style="text-align: center;">A</div>

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

<p>事業名 (予算・決算)</p>	<p>[3 9] 公民館・分館等の連携強化推進事業 (生涯学習課：中央公民館係) (予算： 19,304千円 決算： 17,949千円)</p>	
<p>目的</p>	<p>各地区公民館の利用者が安心して気持ちよく学習等が行われるよう、また、地域の拠点として機能するよう、現行通り施設の維持管理を行います。</p>	
<p>事業内容</p>	<p>各地区公民館の施設管理費の支出、施設の使用申請受付・許可、備品等の貸し出し事務及び、嘉麻市の公民館運営に関して公民館運営審議会の開催を行います。</p>	
<p>H 2 1 年度の課題</p>	<p>地区公民館及び分館の運営方針の統一。また、経年劣化等が見込まれる施設については、年次的な改修計画が必要です。</p>	
<p>H 2 1 年度の課題対処方法</p>	<p>各地区の公民館運営統一については協議中です。 施設の年次改修計画については、地元とも協議し策定する必要があります。</p>	
<p>事務局自己評価</p>	<p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>自己評価 -----●----- </p> <p>【自己評価の根拠】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営方針については、現在、各地区の社会教育関係施設の条例を見直し、統一にむけて協議中です。 ・年次改修計画については、未策定のため早急に対処します。 	<p>前年の事務局自己評価</p> <p style="text-align: center;">A</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>公民館は生涯学習の拠点施設としての役割があり、現行どおりの運営を継続します。</p>	
<p>H 2 2 年度の課題</p>	<p>地元と協議を行い施設の年次改修計画を策定し、地域の活性化を図る必要があります。</p>	
<p>『評価委員の意見』</p> <p>評価委員の意見はありませんでした。</p>		
<p>教育委員会評価</p> <p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>委員会評価 -----●----- </p>		<p>前年の評価</p> <p style="text-align: center;">A</p>

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

<p>事業名 (予算・決算)</p>	<p>[4 0] 分館及び自治公民館等活動費補助金事業 (生涯学習課：中央公民館係) (予算： 9,133千円 決算： 8,273千円)</p>	
<p>目 的</p>	<p>分館及び自治公民館への各種補助を行い地域コミュニティの拠点づくりを図ります。</p>	
<p>事業内容</p>	<p>分館運営費補助、自治公民館災害保険補助、自治公民館修繕料補助、自治公民館活動費補助、自治公民館付属施設設置補助を交付します。</p>	
<p>H 2 1 年度 の課題</p>	<p>補助金の交付については、交付基準の整備を図ります。</p>	
<p>H 2 1 年度 の課題対処 方法</p>	<p>補助金算出に基準を設け、公平公正に補助金交付を行いました。</p>	
<p>事務局 自己評価</p>	<p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>自己評価 -----●----- </p> <p>【自己評価の根拠】</p> <p>各種補助を行い、各地域が公民館活動に取り組んでいますが、地域により活動に差異があります。その是正について来年度改善していきます。</p>	<p>前年の 事務局 自己評価</p> <p style="text-align: center;">B</p>
<p>今後の 方向性</p>	<p>公民館は生涯学習の拠点施設としての役割があり、今後とも運営を継続します。公民館・分館としての役割や機能について、再認識するとともに、組織強化を図り、後継者育成や地域活性化に繋げていきます。</p>	
<p>H 2 2 年度 の課題</p>	<p>運営に関して、分館・自治公民館としての役割や機能について、統一認識を持って事業展開を行い地域の活性化を図ります。</p>	
<p>『評価委員の意見』</p> <p>評価委員の意見はありませんでした。</p>		
<p>教育委員会評価</p> <p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>委員会評価 -----●----- </p>		<p>前年の評価</p> <p style="text-align: center;">B</p>

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

<p>事業名 (予算・決算)</p>	<p>[4 1] 生涯学習推進事業 (生涯学習課：社会教育係) (予算： 7 0 , 6 9 5 千円 決算： 6 6 , 9 8 4 千円)</p>	
<p>目 的</p>	<p>職員ならびに地域活動指導員の資質向上や市民ニーズを活かし、生涯学習の推進を図るとともに生涯学習施設を運営（維持管理）します。</p>	
<p>事業内容</p>	<p>社会教育委員会議及び課内会議等の開催。職員等の研修会参加や社会教育主事の育成等の実施。なつき文化ホール、夢サイトかほ、上山田住民ホール、山田市民センター、下山田小学校白馬ホール、山田生涯学習館の生涯学習施設を運営（維持管理）します。</p>	
<p>H 2 1 年度 の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な生涯学習施設整備計画 ・施設の老朽化に伴う補修 	
<p>H 2 1 年度 の課題対処 方法</p>	<p>国の補助金等を利用し大規模な修繕工事を行いました。また、生涯学習施設整備計画は、老朽施設の整備順、補助金の活用、利用者や市民の意見を充分考慮し検討する必要があります。</p>	
<p>事務局 自己評価</p>	<div style="text-align: center;"> <p>A B C D</p> <p>自己評価 ----- -----●----- </p> <p>【自己評価の根拠】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員、地域活動指導員等の資質向上のため各種研修会、課内研修など積極的に参加・派遣しました。研修後には、報告会を実施するなどスキルアップに一定の効果があつたと考えます。 ・施設の運営管理については、光熱水費等節減に努め、適正に遂行できましたが具体的な施設整備計画は策定できませんでした。 </div>	<p>前年の 事務局 自己評価</p> <p style="text-align: center;">A</p>
<p>今後の 方向性</p>	<p>今後とも職員・地域活動指導員・社会教育委員の資質向上のため各種の業務研修会、専門研修に積極的に参加・派遣いたします。なお、社会教育施設については、生涯学習を推進する市民の活動拠点であり、現状維持で運営いたしますが施設の老朽化等統廃合を含め、施設の整備順、補助金の活用など、利用者や市民の意見を充分考慮し、今後、検討・計画いたします。</p>	
<p>H 2 2 年度 の課題</p>	<p>社会教育施設整備計画の策定ならびに行政改革推進室との協議（施設の統廃合・廃止）。また、老朽化に伴う施設の補修。</p>	
<p>『評価委員の意見』</p> <p>評価委員の意見はありませんでした。</p>		
<p>教育委員会評価</p> <div style="text-align: center;"> <p>委員会評価 A B C D</p> <p> ----- -----●----- </p> </div>		<p>前年の評価</p> <p style="text-align: center;">C</p>

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

<p>事業名 (予算・決算)</p>	<p>[42] 青少年の体験活動推進事業(生涯学習課:社会教育係) (予算: 2,065千円 決算: 1,997千円)</p>	
<p>目的</p>	<p>子どもたちの自主的・自発的な体験活動を推進するとともに表現力の向上を図ります。</p>	
<p>事業内容</p>	<p>職業体験(嘉穂地区小学校5~6年生38人) 通学合宿(山田・稲築・碓井地区)や中学生の主張(各中学校2名ずつの10名)など市民組織が行う事業の支援、わたしのエッセイ(693名)の開催。</p>	
<p>H21年度の課題</p>	<p>地域の指導者が不足。「わたしのエッセイ」の応募については、学校によって事業の捉え方に差異。</p>	
<p>H21年度の課題対処方法</p>	<p>新たな指導者の発掘と人材育成に努めました。また、「わたしのエッセイ」事業では学校への協力依頼を強化しました。</p>	
<p>事務局自己評価</p>	<div style="text-align: center;"> <p>A B C D</p> <p>自己評価 -----●----- </p> <p>【自己評価の根拠】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業体験は、事業の周知と協力依頼を強化し、協力店(協力者)が増えるなど一定の効果がみられましたが、他地域への事業拡大までは至りませんでした。 ・通学合宿は、実行委員会形式が定着しつつあり、地域力の向上にも繋がっています。しかしながら、各実行委員会とも実行委員(指導者)の不足など、参加人員の偏りも見られます。 ・わたしのエッセイ事業は、学校への参加協力依頼等強化した結果、作品が前年度より119点増え、市内全小学校から応募がありました。 </div>	<p>前年の事務局自己評価</p> <p style="text-align: center;">A</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>地域住民組織の支援を行いながら、連携して各種体験活動を推進します。「わたしのエッセイ」事業、中学生の主張大会は、住民組織と連携を図りながら今後とも実施していきます。</p>	
<p>H22年度の課題</p>	<p>各事業とも地域に浸透しつつありますが、お仕事体験事業、通学合宿事業が市全体で開催できていません。今後、未開催地域では事業が展開できるように住民組織と連携を図り事業の実施に向け努めてまいります。</p>	
<p>『評価委員の意見』</p> <p>素晴らしい取り組みだと思うので、更に広げてもらい続けてほしい。 嘉穂地区でも通学合宿できないか、又は、通学しなくても生活体験だけでも実施すべき。 家で手伝いをさせるなど家庭にも協力をお願いできないか。 家庭の教育力を高める取組みをしてはどうか。</p>		
<p>教育委員会評価</p> <div style="text-align: center;"> <p>A B C D</p> <p>委員会評価 -----●----- </p> </div>		<p>前年の評価</p> <p style="text-align: center;">A</p>

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

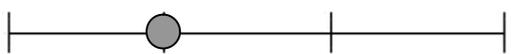
事業名 (予算・決算)	[4 3] コミュニティ活動支援事業 (生涯学習課：中央公民館係) (予算： 6 2 千円 決算： 2 0 千円)	
目 的	地域と公民館の「協働」による公民館運営の視点から関係団体や公民館を支える人たちと、公民館の新たな可能性を模索し、これからの公民館づくりを目指すネットワークの構築を図ります	
事業内容	公民館関係者及び職員の研修会を開催し資質向上を図ります。 H 2 1 新規事業	
H 2 1 年度 の課題	これからの公民館づくりを目指すネットワークの構築を図ります。	
H 2 1 年度 の課題対処 方法	団体の洗い出しと、課題の共通認識を持つことと、公民館以外の所管課との協議を行いネットワークの構築を図ることが必要です。	
事務局 自己評価	<div style="text-align: center;"> A B C D 自己評価 -----●----- </div> <p>【自己評価の根拠】 公民館関係職員の研修会を行い一定の成果を上げることが出来ましたが、コミュニティ支援のための計画書の作成及び、ネットワークの構築ができていません。</p>	前年の 事務局 自己評価 -
今後の 方向性	嘉麻市自治基本条例の制定により、それぞれの分野での協働による事業の展開が必要となります。	
H 2 2 年度 の課題	コミュニティ支援のための計画書の作成及び、ネットワークの構築を図ります。	
『評価委員の意見』 評価委員の意見はありませんでした。		
教育委員会評価 委員会評価		前年の評価 -
<div style="text-align: center;"> A B C D -----●----- </div>		

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

事業名 (予算・決算)	[4 4] 公民館等事業・講座事業 (生涯学習課：中央公民館係) (予算： 2,055千円 決算： 1,511千円)	
目 的	住民相互の交流と教養の向上、健康増進を図り生きがいづくりを行います。	
事業内容	中央公民館 : 公民館講座、成人式、公民館関係者研修会等 碓井地区公民館 : 公民館講座 山田地区公民館 : 山田サルビア大学、4地区分館婦人学級、 3ちゃんグラウンドゴルフ等 稲築地区公民館 : 盆踊り教室・絵手紙教室・ふるさと学び塾等	
H 2 1 年度 の課題	公民館利用者の拡大と住民ニーズの把握を行います。	
H 2 1 年度 の課題対処 方法	公民館の利用について、新規利用者が参加しやすい環境(講座内容・時間等)づくりを検討しました。	
事務局 自己評価	<div style="text-align: center;"> </div> <p>【自己評価の根拠】 開催時間を休日や夜間に行うことで、参加しやすい状況をつくり利用者の拡大に取り組みました。結果として新たな受講者が増えましたが、インフルエンザ等の影響で、予定した講座を一部開催できませんでした。</p>	前年の 事務局 自己評価 B
今後の 方向性	講座を通しての行政と住民とのふれあい、生涯学習の推進(住民主体での人づくり、まちづくりを展開)と他の分野と連携した事業の推進を検討する必要があります。	
H 2 2 年度 の課題	公民館利用者の拡大、講座内容の拡充を図ります。	
『評価委員の意見』 評価委員の意見はありませんでした。		
教育委員会評価	<div style="text-align: center;"> </div> <p>委員会評価</p>	前年の評価 B

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

重要課題4 いきいきとしたスポーツライフの創造
 (1) 子どもたちの体力・運動能力向上の推進

<p>事業名 (予算・決算)</p>	<p>[45]子どもの体力・運動能力向上事業 (生涯学習課課：スポーツ振興係) (予算： 160千円 決算： 130千円)</p>	
<p>目的</p>	<p>市内の幼児、児童の体力・運動能力を向上させます。</p>	
<p>事業内容</p>	<p>運動能力アップ親子塾(4回×2地区、参加者:のべ174人) カヌー教室(5日、参加者:のべ75人) わんぱくあそび塾(4回×2地区、参加者:のべ125人) ドッチボール大会(参加者:229人) [新規]学校体力テスト支援事業(8校、計19回) [新規]出前運動教室(稲築地区市立保育園、大隈小学校で実験的に実施) [新規]トップアスリートスポーツ教室(講師:高鍋絵美、参加者:19人)</p>	
<p>H21年度の課題</p>	<p>「運動能力アップ親子塾」「カヌー教室」「わんぱくあそび塾」においては参加対象や参加人数等が限定されています。</p>	
<p>H21年度の課題対処方法</p>	<p>保育園や学校に出向いて運動指導をするなど、より多くの子どもを対象とした事業を実施していきました。</p>	
<p>事務局自己評価</p>	<p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>自己評価 </p> <p>【自己評価の根拠】 「学校体力テスト支援事業」や「出前運動教室」を実施することで、一部ではあるが、保育園や学校との連携を深めることができました。これによりこの事業を全域に広げていける可能性が出てきました。</p>	<p>前年の事務局自己評価</p> <p style="text-align: center;">B</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>市内全域に活動を展開し、より多くの子どもに対し体力・運動能力向上の事業を展開していきます。</p>	
<p>H22年度の課題</p>	<p>モデル事業を実施するとともに、体力テストなどを実施しその効果を検証する必要があります。</p>	
<p>『評価委員の意見』 ゴールデンエイジ(10~12歳)の経験は大切だと思う。 運動教育のときに、やる気を損なわないよう褒めて育てて欲しい。 市内全体に出前運動を広げてほしい。 トップアスリート教室の参加者が少なかったことが残念である。</p>		
<p>教育委員会評価</p> <p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>委員会評価 </p>		<p>前年の評価</p> <p style="text-align: center;">B</p>

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

(2) 多様なスポーツ参加機会の充実

<p>事業名 (予算・決算)</p>	<p>[46] スポーツ提供事業(生涯学習課課:スポーツ振興係) (予算: 188千円 決算: 42千円)</p>	
<p>目的</p>	<p>スポーツ人口の増加と市民の健康増進を図ります。</p>	
<p>事業内容</p>	<p>体力テスト(4会場×1日、参加者:73人) 健康運動教室(88回開催、参加者:787人) 大人のカヌー教室(5回開催、参加者:のべ95人) [新規]目的別シェイプアップ教室(5日×3回、参加者:のべ287人) [新規]15分間トレーニング教室(4日開催、参加者:のべ27人) [新規]スポーツ団体一覧作成(掲載団体数:58団体)</p>	
<p>H21年度の課題</p>	<p>各教室終了時にアンケートをとっているが、市民のニーズが見えてこないため、市民のニーズを把握した事業が展開できていません。</p>	
<p>H21年度の課題対処方法</p>	<p>市民に分りやすいように、具体的な「内容」、「名称」で教室を実施しました。</p>	
<p>事務局自己評価</p>	<p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>自己評価 -----●----- </p> <p>【自己評価の根拠】 事業の見直しを行い新規に目的別シェイプアップ教室を行ったところ多くの参加者あったこともあり運動に取り組む機会を提供することが出来たと考えます。カヌー教室では教室後、サークルとなり、定期的に活動するようになりました。以上のことより「B」と判断しました。</p>	<p>前年の事務局自己評価</p> <p style="text-align: center;">B</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>市民のニーズに応じた教室等を実施することで運動に親しむ機会を提供するとともに、教室終了後、継続することが出来るような教室を実施することで継続的にスポーツを行う人の増加を図っていきます。</p>	
<p>H22年度の課題</p>	<p>市民のニーズをどのようにとらえるか課題となります。教室終了後、事業の振り返りを行いながらニーズの把握と新たなニーズの創造する方法について検討していく必要があります。</p>	
<p>『評価委員の意見』 高齢者向けのスポーツ教室は評判が良いので、ぜひ続けて欲しい。</p>		
<p>教育委員会評価</p> <p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>委員会評価 -----●----- </p>		<p>前年の評価</p> <p style="text-align: center;">B</p>

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

(3) 指導者の養成と活用

事業名 (予算・決算)	[47] スポーツを支える人づくり事業 (生涯学習課課：スポーツ振興係) (予算： 2,234千円 決算： 1,971千円)	
目的	スポーツ指導者の指導力向上と養成します。	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ指導者、体育指導委員等を対象とした研修会の実施。 ・福岡県、筑豊地区等で開催される研修会への案内、派遣。 県教育委員会主催研修 県立スポーツ科学情報センター主催研修 筑豊教育事務所主催研修 等	
H21年度の課題	研修を実施するが、市内学校、スポーツ関係者の参加が少ない状況にあります。いかに多くの運動指導者に参加してもらうかが課題となります。	
H21年度の課題対処方法	研修を開催する際、学校行事との調整を行うとともに積極的に働きかけを行いました。	
事務局自己評価	A B C D 自己評価 -----●----- 【自己評価の根拠】 研修等において、以前同様参加者が少ない状況の改善をはかることが出来なかったため「C」と判断しました。	前年の事務局自己評価 B
今後の方向性	運動の重要性、スポーツの基礎知識をより多くの人に知ってもらえるように事業を展開していきます。	
H22年度の課題	学校、PTA、体育協会、体育指導委員等と協議しながら連携した取り組みを行う必要があります。	
『評価委員の意見』 評価委員の意見はありませんでした。		
教育委員会評価	A B C D 委員会評価 -----●-----	前年の評価 B

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

(4) 既存スポーツ施設の効果的・効率的な管理運営

<p>事業名 (予算・決算)</p>	<p>[48] 体育施設管理運営事業(生涯学習課課:スポーツ振興係) (予算: 309,417千円 決算: 165,761千円)</p>	
<p>目的</p>	<p>自主運動の場を提供し、市民の健康増進を図ります。</p>	
<p>事業内容</p>	<p>社会体育施設の管理・運営・整備 全28施設 嘉穂テニスコート、稲築プール、鴨生テニスコートについては休止中 ・ 施設の改修等が必要な箇所の調査 ・ 鴨生テニスコートの休止 ・ 山田野球場の内野改修及び女子トイレの設置</p>	
<p>H21年度の課題</p>	<p>施設の統廃合について検討をしていかなければなりません。</p>	
<p>H21年度の課題対処方法</p>	<p>施設統廃合の協議を進めていく上で必要となる、各施設の今後改修等の必要となる箇所の調査を行いました。</p>	
<p>事務局自己評価</p>	<p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>自己評価 -----●----- </p> <p>【自己評価の根拠】 今後の統廃合を進めていくうえで必要な施設調査を実施し改修が必要な箇所を明らかにすることができたため「B」と判断しました。</p>	<p>前年の事務局自己評価</p> <p style="text-align: center;">B</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>直営、指定管理者等の管理体制を含め、効果的な管理運営を進めていく必要があります。また、建設当時のニーズと現在のニーズが合致しているのかを検討しながら既存施設の利活用方法を探っていく必要があります。</p>	
<p>H22年度の課題</p>	<p>施設の統廃合、廃止について検討していく必要があります。</p>	
<p>『評価委員の意見』</p> <p>評価委員の意見はありませんでした。</p>		
<p>教育委員会評価</p> <p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>委員会評価 -----●----- </p>		<p>前年の評価</p> <p style="text-align: center;">B</p>

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

(5) 総合型地域スポーツクラブの育成・支援

事業名 (予算・決算)	[49] 総合型地域スポーツクラブ支援事業 (生涯学習課課：スポーツ振興係) (予算： 0千円 決算： 0千円)	
目的	市民のだれもが身近な場所で運動に親しむことが出来る、総合型地域スポーツクラブを支援・育成します。	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブの用具貸出し等の支援。 ・補助金等の紹介 ・教育事務所等との連絡・調整 	
H21年度の課題	今回から評価対象となる事業です。	
H21年度の課題対処方法	<平成21年度新規事業>	
事務局自己評価	<p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>自己評価 ----- -----●----- </p> <p>【自己評価の根拠】 既存の総合型地域スポーツクラブの用具等の貸出し等の支援を行っているが、新規総合型地域スポーツクラブの設立に向けたの方策を行うことが出来なかったため「C」と評価しました。</p>	前年の事務局自己評価
今後の方向性	既存総合型地域スポーツクラブの支援を行っていくとともに、新規総合型地域スポーツクラブ設立に向けた取り組みを行っていきます。	
H22年度の課題	総合型地域スポーツクラブ設立に向けたニーズの把握とニーズの創造を行っていく必要があります。	
『評価委員の意見』 評価委員の意見はありませんでした。		
教育委員会評価	<p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>委員会評価 ----- -----●----- </p>	前年の評価

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

(6) 市民主導で運営するスポーツ行事の支援

事業名 (予算・決算)	[50]スポーツ団体支援事業(生涯学習課課:スポーツ振興係) (予算: 6,939千円 決算: 6,866千円)	
目的	各種大会、団体を補助することでスポーツの振興を図ります。	
事業内容	ふくおか子ども駅伝大会 in 嘉麻 } 自主運営 嘉麻シティマラソン } 遊人の杜CUPマウンテンバイク大会 } 嘉麻市体育協会 } 市民総合体育大会 } 指導者の育成、教室等の開催、市民がスポーツに 県民体育大会出場 } 親しめる環境づくり	
H21年度の課題	自主運営が出来る団体となるよう指導していく必要があります。	
H21年度の課題対処方法	自主運営が出来るよう指導を行っていきました。	
事務局自己評価	A B C D 自己評価 -----●----- 【自己評価の根拠】 補助金の減額等があり前年度と比較して補助額が減少したため「B」と判断しました。	前年の事務局自己評価 B
今後の方向性	補助金について定期的な見直しを行っていくとともに、自主財源確保に努めてもらうよう理解を求めていきます。	
H22年度の課題	体育協会指導者の育成を図ってもらうとともにスポーツ人口の増加を図ってもらうよう協議していく必要があります。	
『評価委員の意見』 評価委員の意見はありませんでした。		
教育委員会評価 委員会評価 -----●-----		前年の評価 B

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

重要課題5 人権尊重精神を育成する教育の推進

(1)学校教育における人権教育の推進・支援

事業名 (予算・決算)	[51]人権教育推進事業(学校教育課:教務係) (予算: 0千円 決算: 0千円)	
目的	福岡県人権教育・啓発基本指針及び嘉麻市人権教育・啓発基本指針に基づき、学校教育活動全体を通して、児童生徒が共生の心を身につけるとともに、自分らしさや能力を十分に発揮し、人権問題を主体的に解決していく力を身につけることができるよう指導していきます。	
事業内容	学校における人権教育の時間の充実を図ります。	
H21年度の課題	各学校の道徳の学習の時間の充実による人権感覚の定着。	
H21年度の課題対処方法	心の教育の中心となる道徳の学習の時間を充実させることにより、人権感覚を高めていくようにします。	
事務局自己評価	<div style="text-align: center;"> A B C D 自己評価 -----●----- ----- ----- </div> <p>【自己評価の根拠】 道徳の時間や総合学習等、学校教育全体を通して、人権感覚の定着を図りましたが、学校によっては課題が残っています。</p>	前年の事務局自己評価 -
今後の方向性	道徳の副読本を充実させたり、体験的学習を充実させたりすることで、人権感覚を身につけさせます。	
H22年度の課題	各学校における道徳の学習の時間の実施状況及び内容の把握が必要です。	
『評価委員の意見』 評価委員の意見はありませんでした。		
教育委員会評価 委員会評価		前年の評価 -

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

(2) 社会教育における人権・同和教育の推進・支援

事業名 (予算・決算)	[52]人権学習推進事業(生涯学習課:人権・同和教育係) (予算: 159千円 決算: 97千円)	
目的	豊かで人権意識の高い街づくりの推進	
事業内容	嘉麻市の人権・同和教育の推進を図るため、嘉麻市同和教育研究協議会の活動の活性化、人権問題地域研修会、企業研修会、老人クラブ等の研修会を推進し、人権・同和問題に関する意識の向上を図ります。	
H21年度の課題	一般研修会の参加者集め 研修会開催地区の検討 団体・各種サークル等全般にわたっての研修会の開催	
H21年度の課題対処方法	一般研修会は各地区行政区において開催していますが、開催地区が少ない状況です。 各種団体・サークルについては、関係団体等に案内を行っていますが、研修会の開催があまり出来ていません。	
事務局自己評価	<p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>自己評価 </p> <p>【自己評価の根拠】 企業・団体・サークル等個別的な研修会は、多く開催できなかったが、案内や山田地区におけるケーブルテレビによる放映が出来たことは、成果につながったと思います。 また、本年度は人権教育推進のための調査研究事業により、指導者研修会と合わせて研修が出来たことは良かった。</p>	前年の事務局自己評価 A
今後の方向性	あらゆる人権啓発研修を行うにあたり、各種団体等への案内を行い多くの参加をお願いします。 本年度も行政推進協議会の人権研修会が2回予定されるので、嘉麻市の企業にも多くの参加をお願いします。 市内の誘致企業においても、参加をしていただき、企業内人権研修をお願いします。	
H22年度の課題	企業内・各種団体及び行政区等において、人権研修会をしていただくように人権ビデオの一覧表等を送付し、1件でも開催されるように、案内します。また、関係課と連携し研修会の開催を行います。	
『評価委員の意見』 評価委員の意見はありませんでした。		
教育委員会評価	<p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>委員会評価 </p>	前年の評価 C

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

事業名 (予算・決算)	[5 3]解放学級育成事業 (生涯学習課：人権・同和教育係) (予算： 2, 0 2 2 千円 決算： 1, 7 6 7 千円)	
目 的	解放学級の地域活動の活性化	
事業内容	<p>嘉穂・稲築・碓井地区においては、他地域へのフィールドワーク等により、解放学級の充実（外部講師等による、講座や講義を開催）や、解放子ども会との交流を通じて、人権学習の理解とつながりを深めます。</p> <p>嘉穂地区 3 学級・碓井地区 9 学級・稲築地区 1 学級</p>	
H 2 1 年度 の課題	解放学級生の高齢化等により解放学級への参加者の減少がある。	
H 2 1 年度 の課題対処 方法	各地域の学級に呼びかけを行い、参加要請しました。 参加者の参加しやすい時間帯に変えて昼間の学級を開催しました。	
事務局 自己評価	<div style="text-align: center;"> <p>自己評価 -----●----- </p> <p style="margin-left: 100px;">A B C D</p> </div> <p>【自己評価の根拠】 2 1 年度行政の指導員とともに活動を行った結果、碓井支部などに活気が出てきたので、2 2 年度につながるように地域連携をしていきます。学級数が減少しているなかで、夜間から昼間での解放学級へと衰退せずに開催できたことは良かったと思います。</p>	前年の 事務局 自己評価 <div style="text-align: center;">B</div>
今後の 方向性	年々学級生が減少しているので、新たな学級生が増えるように、学級生がお互いに声かけるようにしていきます。	
H 2 2 年度 の課題	碓井・稲築・嘉穂と解放学級を開催しているが、嘉穂が 3 学級から 2 学級に減少しました。原因として、学級生の高齢化と減少によるものです。多くの参加の呼びかけをしていきます。	
『評価委員の意見』 評価委員の意見はありませんでした。		
教育委員会評価 <div style="text-align: center;"> <p>委員会評価 -----●----- </p> <p style="margin-left: 100px;">A B C D</p> </div>		前年の評価 <div style="text-align: center;">B</div>

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

事業名 (予算・決算)	[5 4]人権教育推進のための調査研究事業 (生涯学習課：人権・同和教育係) (予算： 799千円 決算： 799千円)	
目 的	嘉麻市における、人権教育・啓発の推進と深まりを図るための効果的啓発活動の在り方について研究するための取り組みです。	
事業内容	平成20・21年度の2カ年計画での取り組みです。 平成20年度においては、推進委員会設置・企画会議設置・視察研修・各種団体、サークル代表者対象の講演会・人権教育・啓発冊子の作成を行いました。 平成21年度においては、人権アンケートの作成・実施と活用(リーフレット作成) 企画会議委員の指導者としての養成研修・団体・サークル等の代表者を対象の人権研修会や個別研修会を開催しました。	
H 2 1 年度 の課題	人権アンケートの作成による利活用。 企画会議委員の指導者養成研修会の開催による指導者の育成。 市民主体の人権教育・啓発が必要。	
H 2 1 年度 の課題対処 方法	団体・サークル等による人権アンケートの作成をしましたが、製本が年度末により、利活用まで出来なかった。 企画会議委員の指導者養成研修会の開催が出来ました。 企業研修等を推進したが、就業時間等の関係で開催が難しいので、企業・団体・サークル等の代表者の人権研修会の開催を行いました。	
事務局 自己評価	<div style="text-align: center;"> <p>A B C D</p> <p>自己評価 ●————— ————— ————— ————— </p> </div> <p>【自己評価の根拠】</p> <p>団体・サークル等の代表者で構成する企画会議を開催することで、住民が人権教育・啓発の主体となりました。特に、人権アンケートの作成や指導者養成研修会に際しては、各専門部会を設置し、具体的な内容の検討等、住民の代表である企画会議が中心となり事業を進めることにより、住民の声を反映することが出来たと思います。</p>	前年の 事務局 自己評価
今後の 方向性	本事業は、県の再委託事業で本年度で終わりですが、人権教育・啓発の指導者育成とともに、住民の声を本市の人権教育・啓発に生かす体制づくりが必要と考えています。	
H 2 2 年度 の課題	平成20・21年度で作成しました、リーフレット及び人権アンケートの資料により、あらゆる研修会の場において利活用する必要があると思います。	
『評価委員の意見』 団体・サークル等にぜひリーフレットの活用をしてほしい。		
教育委員会評価 <div style="text-align: center;"> <p>A B C D</p> <p>委員会評価 —————●————— ————— ————— </p> </div>		前年の評価

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

重要課題6 特色ある市民文化の創造

(1)文化芸術活動の推進

<p>事業名 (予算・決算)</p>	<p>[55]文化芸術活動推進事業(生涯学習課:美術館係) (予算: 368千円 決算: 273千円)</p>	
<p>目的</p>	<p>優れた芸術作品の鑑賞機会を市民に提供し文化活動を推進するとともに、市内小中学校にもはたらきかけ、文化芸術鑑賞教育の充実を図ります。</p>	
<p>事業内容</p>	<p>第65回福岡県美術展覧会筑豊巡回展の開催 開催期間: 11月10日~11月15日(6日間) 会場: 嘉麻市サルビアホール 出展作品: 日本画・洋画・写真、グラフィックデザイン部門</p>	
<p>H21年度の課題</p>	<p>より多くの人に鑑賞してもらうとともに芸術鑑賞教育の機会として学校からの引率を依頼することです。</p>	
<p>H21年度の課題対処方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター、看板など広域的な広報活動を行い、周知に努めました。 ・市内小中学校へも紹介し案内しました。 	
<p>事務局自己評価</p>	<p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>自己評価 -----●----- </p> <p>【自己評価の根拠】 広報活動により前回より鑑賞者が増え、多くの人に作品を鑑賞する機会を提供することができました。</p>	<p>前年の事務局自己評価</p> <p style="text-align: center;">-</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>今後も山田美術協会と協力し、質の高い芸術作品鑑賞の機会を提供していきます。</p>	
<p>H22年度の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も広く広報活動を行うとともに周知に努める必要があります。 ・学校からの引率については学校と協議が必要です。 ・県展の運営については関係者と協議し、検討が必要です。 	
<p>『評価委員の意見』 県展を美術館で行ってほしい。作品全部ではなく、一部だけでもできればいいと思う。嘉麻市になったので、将来のためにも美術館を活用し、展示してほしい。嘉麻市は市バスも走っているため、美術館にも行きやすくなっていると思う。</p>		
<p>教育委員会評価</p> <p style="text-align: center;">委員会評価 A B C D</p> <p style="text-align: center;"> -----●----- </p>		<p>前年の評価</p> <p style="text-align: center;">-</p>

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

(2) 図書館の利用促進

事業名 (予算・決算)	[5 6] 図書施設運営管理事業 (生涯学習課：図書館係) (予算： 6 3 , 4 5 5 千円 決算： 5 0 , 5 3 3 千円)	
目的	図書資料、利用者サービスを充実し利用促進を図ります。	
事業内容	<p>図書館職員又は受託業者が、施設、資料、システムを管理運営します。図書館職員が、貸出、予約業務を行います。図書館協議会を開催します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館施設の保守点検、清掃 ・ 図書館資料の選書、分担購入 ・ 移動図書館車の運行 ・ 図書館だよりの発行 	
H 2 1 年度 の課題	中央館の選定、稲築図書館の充実などの課題があります。	
H 2 1 年度 の課題対処 方法	各館の維持管理内容の仕様の統一を図るとともに、随意契約の見直しをすることで、維持管理費の削減を図りました。	
事務局 自己評価	<p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>自己評価 -----●----- </p> <p>【自己評価の根拠】 図書館職員や受託業者により適切な管理が行われ、登録者数も増加しています。</p>	<p>前年の 事務局 自己評価</p> <p style="text-align: center;">B</p>
今後の 方向性	<p>よりよい蔵書構成を目指すことにより、利用者が必要とする図書等を提供します。なお、施設運営に当っては、現行のまま運営を継続していきます。</p> <p>広報活動の充実やよりよいサービスの提供により貸出数の増加を目指します。</p>	
H 2 2 年度 の課題	嘉麻市の図書館に相応しい運営方法、組織体制について検討するなかで、中央館の選定についての考えを整理します。	
<p>『評価委員の意見』</p> <p>図書館は本の貸出業務だけではない。人と人のつながりを大切にしてほしい。 司書の異動があるため、司書とのつながりがもちにくい。 学力向上のためにも、本を読むことが大切であるので、本を読む環境整備をしてほしい。 てんとう虫号（移動図書館）でも広報活動をしてもらいたい。 稲築図書館が小さく蔵書も少ないので、充実させるよう工夫してもらいたい。</p>		
教育委員会評価	<p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>委員会評価 -----●----- </p>	<p>前年の評価</p> <p style="text-align: center;">C</p>

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

事業名 (予算・決算)	[5 7] 読書活動推進事業 (生涯学習課：図書館係) (予算： 7 2 4 千円 決算： 7 3 5 千円)	
目 的	市民に様々な読書活動の推進を図ることにより図書館の利用を促進します。	
事業内容	ブックスタート事業 (4 ヶ月児検診時に読み聞かせを行う事業) などの乳幼児向けから大人向けの映画会、講座などの様々な年代に対応した読書推進事業を実施します。 ・おはなし会 (乳幼児向け、児童向け) ・雑誌リサイクル市 ・読書講演会	
H 2 1 年度 の課題	図書館の利用促進のため多くの人に事業に参加してもらい図書館の魅力を知ってもらう取り組みが必要です。	
H 2 1 年度 の課題対処 方法	市民により多くの参加を促すため、積極的な P R に努めました。	
事務局 自己評価	<div style="text-align: center;"> A B C D 自己評価 -----●----- </div> <p>【自己評価の根拠】 各種事業の実施により、新たな利用者の開拓や図書資料の P R が図られ図書利用の幅が広がっています。</p>	前年の 事務局 自己評価 B
今後の 方向性	本と人、人と人の出会いの場として読書推進事業のさらなる充実を図ります。	
H 2 2 年度 の課題	子どもたちにはおはなし会等で本の楽しさを伝え、大人には読書の大切さを感じてもらい図書館の積極的な利用につながるよう事業の充実を図ります。	
『評価委員の意見』 ブックスタート事業が嘉麻市内全域で行われるようになり、大変良いことだと思う。小さい子どもを持つ母親が絵本の重要性を再認識できるいい機会だと思う。素晴らしい事業だと思う。		
教育委員会評価 委員会評価		<div style="text-align: center;"> A B C D 委員会評価 -----●----- </div> 前年の評価 B

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

事業名 (予算・決算)	[5 8] 図書ボランティア養成事業 (生涯学習課：図書館係) (予算： 1 6 8 千円 決算： 1 5 0 千円)	
目 的	図書ボランティアの養成、活動支援を行います。	
事業内容	図書ボランティア連絡協議会の活動支援、ボランティア養成講座の開催、ボランティアサークルによるおはなし会、学校での読み聞かせ等の活動支援を行います。 ・嘉麻市図書ボランティア連絡協議会 (総会、研修会、交流会) ・布絵本づくり講座、朗読と語りの基礎講座、朗読と語りの中級講座	
H 2 1 年度 の課題	ボランティアの固定化、高齢化が進んでいます。	
H 2 1 年度 の課題対処 方法	ボランティアの人材育成のための講座を開催しました。	
事務局 自己評価	<div style="text-align: center;"> A B C D 自己評価 -----●----- </div> <p>【自己評価の根拠】 子ども読書推進事業などの図書館が実施する読書推進事業において、ボランティアの協力により充実した事業が実施できています。</p>	前年の 事務局 自己評価 B
今後の 方向性	市民の組織的、継続的な読書活動の推進のため充実を図ります。	
H 2 2 年度 の課題	ボランティア養成講座の開催が、確実にボランティアの人材育成につながるような受講者に対するフォローアップに取り組みます。	
『評価委員の意見』 評価委員の意見はありませんでした。		
教育委員会評価	<div style="text-align: center;"> A B C D 委員会評価 -----●----- </div>	前年の評価 B

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

(3) 美術館の利用促進

<p>事業名 (予算・決算)</p>	<p>[5 9] 美術館運営管理事業 (生涯学習課：美術館係) (予算： 27,204千円 決算：40,735千円)</p>	
<p>目的</p>	<p>市民が利用できる文化芸術活動及び鑑賞の場を提供します。</p>	
<p>事業内容</p>	<p>施設の管理運営 美術資料の展示、保存、収集</p>	
<p>H21年度の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用者の増加を図ります。 市内外の芸術活動を行っている団体や学校などに美術館の周知を図ります。 	
<p>H21年度の課題対処方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者や体の不自由な方々が積極的に活用できるように、美術館表と裏に駐車場を整備しました。 館案内リーフ「織田廣喜美術館へいってみよう」を加筆修正し発行しました。 	
<p>事務局自己評価</p>	<p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>自己評価 -----●----- </p> <p>【自己評価の根拠】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な周知活動により入館者が増加しており、美術鑑賞の場としての役割を果たしています。 入館者数 平成20年度 約 9,000人 平成21年度 約12,000人 	<p>前年の事務局自己評価</p> <p style="text-align: center;">B</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>施設の運営にあたっては、経常経費を確認しながら、現行のまま運営を継続し、多くの人々に美術鑑賞の場を提供します。</p>	
<p>H22年度の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> 市内外へ美術館の更なる周知を図り、多くの人に足を運んでいただけるよう努めます。 関係団体などへアトリエや展示室5の利用について促します。 	
<p>『評価委員の意見』</p> <p>美術館に隣接している、「平和の火」を学校の平和授業や嘉麻市のPR素材として活用してもらいたい。</p> <p>美術館の入館口近くに駐車場ができているが、車の入り口がわかりづらい。</p>		
<p>教育委員会評価</p> <p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>委員会評価 -----●----- </p>		<p>前年の評価</p> <p style="text-align: center;">B</p>

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し必要

事業名 (予算・決算)	[60] 企画展事業 (生涯学習課: 美術館係) (予算: 4,423千円 決算: 4,190千円)	
目的	優れた作品を鑑賞する機会を提供します。	
事業内容	<p>当館収蔵作品を展示する「館蔵品展」や郷土ゆかりの作家の作品を展示する「嘉飯山の画家たち展」など計6つの展示会を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「春の館蔵品展2009」 4月1日～4月12日(11日間) ・「嘉飯山の画家たち展2009」 6月20日～7月20日(27日間) ・「みんな大好き! 絵本原画展」 8月1日～8月30日(26日間) ・「たのしいこどものびじゅつてん」 9月19日～10月18日(26日間) ・「県美術展覧会巡回筑豊展」 11月10日～11月15日(6日間) 県美術展覧会の会場はサルビアパーク ・「春の館蔵品展2010」 3月13日～3月31日(18日間) 	
H21年度の課題	・来館者の増加	
H21年度の課題対処方法	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙やチラシ、ポスターなどによる広報活動を充実させました。 ・「絵本原画展」では隣接する碓井図書館職員による「絵本の読み聞かせ」も行いました。 	
事務局自己評価	<p>A B C D</p> <p>自己評価 ●————— ————— ————— ————— </p> <p>【自己評価の根拠】 企画展の入場者が増加。特に夏休みの企画展「絵本原画展」では親子で参加できる関連事業も実施。期間中約1,800名の入館者がありました。</p>	<p>前年の事務局自己評価</p> <p>A</p>
今後の方向性	筑豊地区で数少ない芸術文化に出会う場として、今後も企画展を継続して実施します。特に夏休みの企画展については、内容を充実させます。	
H22年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み企画展の内容充実を図ります。 ・引き続き広報活動に努めます。 	
『評価委員の意見』 身近な企画展をたくさん開催しており、美術館に入りやすくなった。 嘉麻市外の人からもすばらしい美術館といわれている。 美術館自体を市の財産・シンボルとして広く活用してほしい。 企画展等の広報活動をよくしており、美術館の知名度が上がっていると思う。 美術の交流展(美術協会の活動)も広くPRしてほしい。 嘉麻市という名称はめずらしいので、地名で広くPRすると思う。		
教育委員会評価	<p>A B C D</p> <p>委員会評価 ●————— ————— ————— ————— </p>	<p>前年の評価</p> <p>A</p>

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

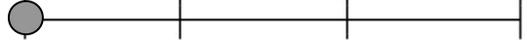
事業名 (予算・決算)	[6 1] 美術館ボランティア養成事業 (生涯学習課：美術館係) (予算： 8 千円 決算： 7 千円)	
目 的	美術館に積極的に参画する人材の育成を図ります。	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア会議及び子ども対象講座内容等の打合せ。 ・教育普及事業の講師補助及び企画展等の監視員補助など。 	
H 2 1 年度 の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア登録者の拡大を図ります。 	
H 2 1 年度 の課題対処 方法	<ul style="list-style-type: none"> ・口コミなどでも募集しました。 	
事務局 自己評価	<div style="text-align: center;"> A B C D 自己評価 ●————— ————— ————— ————— </div> <p>【自己評価の根拠】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年よりボランティア登録者が増え、ボランティアのコミュニケーションを深めることができました。 ・美術教育のサポートが積極的に行われ、子どもたちの活動が充実しました。 	前年の 事務局 自己評価 A
今後の 方向性	ボランティア登録者の拡大と美術館運営に積極的に参画する人材の育成を図ります。	
H 2 2 年度 の課題	ボランティア登録者の拡大と美術館運営などに関わる機会を設け、意識の向上を図ります。	
『評価委員の意見』 評価委員の意見はありませんでした。		
教育委員会評価 委員会評価 ●————— ————— ————— —————		前年の評価 A

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

<p>事業名 (予算・決算)</p>	<p>[6 2] 美術教育普及事業 (生涯学習課：美術館係) (予算： 5 1 4 千円 決算： 4 6 2 千円)</p>	
<p>目 的</p>	<p>生涯学習の一つとして芸術作品制作活動の機会を提供します。</p>	
<p>事業内容</p>	<p>7 講座を開設 (内訳：大人の講座 3 子どもの講座 4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木版画講座：年 2 0 回 対象 1 8 歳以上 受講者 1 0 人 ・紙すきでポストカード作り：年 3 回 1 8 歳以上 受講者 7 人 ・日本画講座：年 4 回 1 8 歳以上 受講者 1 5 人 ・わくわくアトリエクラブ Part 1 & 2 対象小学生とその保護者 年 4 回 受講者 4 8 人 ・ジュニア美術学科：年 1 2 回 対象小学生 受講者 4 3 人 ・オダビアートクラブ：年 2 回 対象小学生 受講者 2 7 人 	
<p>H 2 1 年度 の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い学習内容(体験講座)を提供します。 	
<p>H 2 1 年度 の課題対処 方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域指導員による講座を開設することで、子どもを対象とした講座内容が充実しました。 	
<p>事務局 自己評価</p>	<p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>自己評価 -----●----- </p> <p>【自己評価の根拠】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に子ども対象事業の受講者が増加しており、関心の高まりがうかがえます。 	<p>前年の 事務局 自己評価</p> <p style="text-align: center;">B</p>
<p>今後の 方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も大人から子どもまでが芸術文化を体感し関心をもつ学習機会を継続して提供していきます。 	
<p>H 2 2 年度 の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども対象の講座 (オダビアートクラブやジュニア美術学科) は受講者が多く、講座開設方法を検討します。 ・学校教育との連携や住民ニーズにあった講座を目指します。 	
<p>『評価委員の意見』</p> <p>いろいろな企画・講座を行っており、募集広告もたくさんあり、がんばっていると思う。専門的な人材の活用で、もっとよい講座になることを期待する。A評価にしてもいいと思う。</p>		
<p>教育委員会評価</p> <p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>委員会評価 ●----- ----- ----- </p>		<p>前年の評価</p> <p style="text-align: center;">B</p>

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

(4)文化財の保護・継承・活用

<p>事業名 (予算・決算)</p>	<p>[6 3] 歴史民俗教育普及事業 (生涯学習課：文化財係) (予算： 3 6 5 千円 決算： 3 4 2 千円)</p>	
<p>目 的</p>	<p>文化財の保存継承のため、学習を通じた周知化や学術研究等への活用を行います。</p>	
<p>事業内容</p>	<p>市民普及事業：資料館・史跡の案内説明、講座や学校等の講師、嘉麻市内の文化財等に関する情報を提供します。 広域普及事業：年報による事業成果の公表、調査報告書等の刊行物による周知化を図ります。 広域連携事業：市民ボランティアとの共同による古墳同時公開事業や文化財イベント、広域行政の共同事業「掘ったバイ筑豊」の実施をします。</p>	
<p>H 2 1 年度 の課題</p>	<p>・ イベント・講座等への参加・見学者の増員を図ります。</p>	
<p>H 2 1 年度 の課題対処 方法</p>	<p>・ 講座テーマを近代とし「筑前竹槍一揆」を幕末の混乱期から解説。美術館で近代化遺産の写真展を実施しました。 ・ 展示を充実するため、碓井郷土館の展示機能を向上させました。 ・ 学校関係で文化財の屋内外学習を 1 1 回行いました。 ・ ボランティア学習会を実施しました。</p>	
<p>事務局 自己評価</p>	<p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>自己評価 </p> <p>【自己評価の根拠】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史講座と企画展示の整合性を図り、特に、筑豊の課題である近代化遺産に焦点をあてました。また、県指定「甌穴群」関係で地質学方面の講座を実施し、周知化を図りました。 ・ ボランティア学習会を実施しました。また、講師・資料館・史跡案内等は 2 7 回になりました。 	<p>前年の 事務局 自己評価</p> <p style="text-align: center;">A</p>
<p>今後の 方向性</p>	<p>・ 講座等の学習と企画展を同一のテーマで実施し、展示は碓井郷土館を中心に展開します。 ・ 指定文化財及び関連施設や案内・説明板の充実、文化財関連情報の提供を行います。</p>	
<p>H 2 2 年度 の課題</p>	<p>・ テーマ設定を「遠賀川以東と以西地域の文化」とし考古学の講座を行います。また、碓井郷土館を利用した、嘉麻市内出土の重要考古資料の展示会を実施し、集客数増加と周知化を図ります。 ・ 平和企画展を行い、大隈小学校所蔵の「青い目の人形」について平和学習面での教材化を図ります。</p>	
<p>『評価委員の意見』 沖出古墳のボランティアがすごくよかった。 平和企画展は、旧市町に残る他の資料も活用してほしい。</p>		
<p>教育委員会評価</p> <p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>委員会評価 </p>		<p>前年の評価</p> <p style="text-align: center;">A</p>

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

事業名 (予算・決算)	[6 4] 文化財保護事業 (生涯学習課：文化財係) (予算： 11,683千円 決算： 11,390千円)	
目 的	文化財の保存継承のため、調査・指定・維持管理・管理運営等を行います。	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 展示施設(6)の管理運営事業、文化財の事前審査、調査事業、 ・ 指定文化財の維持管理事業、運営・修理等の補助・助成事業 ・ 文化財保護審議会運営事業 	
H 2 1 年度 の課題	文化財の事前審査・調査体制の充実、指定文化財の周知と保存継承	
H 2 1 年度 の課題対処 方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化財の事前審査数の倍増に伴い、遺跡分布調査終了年度を1年くり上げて対処しています。 ・ 調査体制充実のため、平成23年度機構改革時における人員確保の要求をしました。 ・ コミュニティ助成による「山野の楽」道具類新調、天然記念物の修理を行いました。 ・ 織田廣喜美術館で近代遺産関連展示を実施しました。 ・ 碓井郷土館の部分修理による展示機能の向上を図りました。 ・ 所蔵資料の整理・データベース化を計画し、管理体制を整えました。 ・ 古八丁越の指定案件を史跡指定で答申しました。 	
事務局 自己評価	<div style="text-align: center;"> <p>自己評価 -----●----- </p> <p>【自己評価の根拠】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 遺跡分布調査終了年度をくり上げ、事前審査増加に対応しています。 ・ コミュニティ事業の活用により文化財保存継承を図りました。 ・ 所蔵展示品の管理体制を整えるため、資料の整理・データベース化の実施に向けた計画の策定を行いました。 </div>	前年の 事務局 自己評価 B
今後の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 展示保存施設及び環境の整備を進めます。 ・ 所蔵資料の整理、データベース化の継続的实施と管理体制の整備を進めます。 ・ 指定文化財の現状における専門的調査を行います。 	
H 2 2 年度 の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 稲築文化ふれあい伝承館の通路・排水および環境等の整備 ・ 碓井平和祈念館・郷土館所蔵資料の整理、データベース化の実施と継続 ・ 指定文化財の専門調査の実施 	
『評価委員の意見』 旧市町にある文化財について、整理が必要である。 千手川の甌穴群の整備・活用が必要であると思う。 稲築資料室に多くの人たちに来てもらいたい。		
教育委員会評価 <div style="text-align: center;"> <p>委員会評価 -----●----- </p> </div>		前年の評価 B

A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要

5. 全体評価結果

全体評価結果

全体評価結果については、事務局の自己評価と評価委員の意見をふまえた教育委員会の評価結果は下記のとおりとなりました。(全64事業)

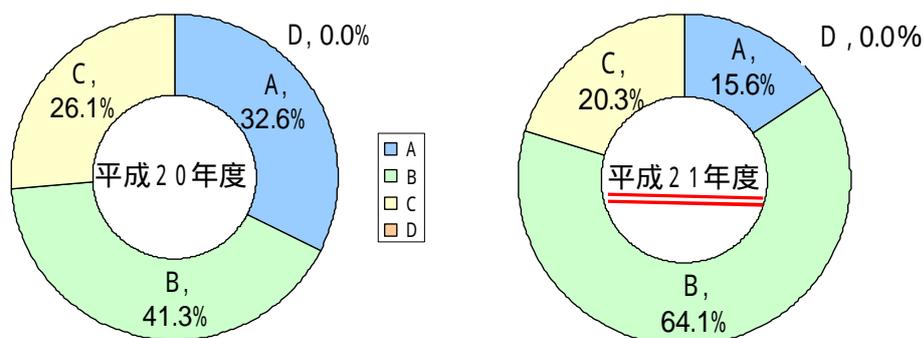
	事務局自己評価	教育委員会評価
A：期待通り	10事業(15.6%)	10事業(15.6%)
B：概ね期待通り	43事業(67.2%)	41事業(64.1%)
C：課題あり	11事業(17.2%)	13事業(20.3%)
D：事業の見直し要	0事業(0.0%)	0事業(0.0%)

なお、前年度の教育委員会評価は、全46事業中

「A：期待通り」 15事業(23.6%) 「B：概ね期待通り」 19事業(41.3%)

「C：課題あり」 12事業(26.1%) 「D：事業の見直し要」 0事業(0.0%)

という評価結果でした。



今回、評価の方法として、事業完了度ではなく目的達成度の観点から総合的に評価を行いました。第三者評価を含んだこれらの評価手法については、今後も引き続き改善を図りたいと考えています。

全体的な年度比較では、課題ありの「C評価」が26.1%から20.3%と5.8%減少し、期待通りの「A評価」及び概ね期待通りの「B評価」があわせて73.9%から79.7%と5.8%増加という全体の評価傾向としては、若干向上していると考えております。しかしながら、A評価のみではポイントが減少していることから、今後はB評価をA評価にするためにもう一步踏み込んだ事業展開やC評価をなくすための改善を図る必要があります。

重要課題ごとの評価及び課題

重要課題1「確かな学力をはぐくみ、個性や能力を伸ばす学校教育の充実」

学校教育環境の充実のための少人数指導や特別支援学級指導員等の人的支援や施設整備などについては計画通りの事業が実施できていますが、ソフト面でさらに学力アップにつながる取組みが必要です。また、奨学金貸付事業の滞納整理、小中一貫教育など長期的に取り組む事業に課題があります。

重要課題2「豊かな人間性や志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進」
健康教育、青少年健全育成、家庭教育支援等については、制度自体に対しては更なる充実を求める意見もあり、内容等についても充実を図りたいと思います。

課題としては、学校図書館環境格差の解決、増加傾向にある不登校の対策などがあります。

重要課題3「生涯学習社会の実現を目指す社会教育の推進」

ボランティア事業については、ボランティア活動が浸透してきており、学校のゲストティーチャー等へでも活用されているという点で期待通りの事業ができました。公民館活動の活発さや運営組織の一本化、各種市民団体への補助金制度の再整理、社会教育団体・指導者・後継者の育成などの課題があります。

重要課題4「いきいきとしたスポーツライフの創造」

現在、幼児、児童、生徒等を対象としたスポーツ教室、スポーツ環境整備等、子どもたちの体力低下問題に関して多様な事業を実施し、参加者も増加しているため、身近に運動できる事業を、市内全域で展開できるよう取組みたいと思います。

課題としては、老朽化した施設の計画的な改修や統廃合を行うことなどがあります。

重要課題5「人権尊重教育を育成する教育の推進」

人権・同和教育の推進を図るために各種学習会を計画的に実施していますが、参加者の減少や企業の協力が少ない等の課題があります。平成20～21年度で行った人権教育推進事業で作成したリーフレットを活用し、更なる取り組みや啓発を行う必要があります。

重要課題6「特色ある市民文化の創造」

図書館事業は、中央図書館の選定や司書のネットワーク作りや地域密着型の図書館運営などに課題があります。美術館事業は、広報活動や美術館の利用促進について評価されました。文化財の保護等に関する取り組みについては、旧市町にある文化財の整理と稲築資料室の広報活動に課題があります。

おわりに

今回点検した教育委員会の事業は、「嘉麻市教育アクションプラン」に具体的な数値目標と、それに対応した行動計画としてを策定しており、計画的かつ効率的に諸施策を着実に進めている状況です。

また、市民の点検評価委員のみなさまからは評価に対する指摘、改善策、貴重な意見等を頂きました。

これらの貴重な意見を事業に活用し、今後の嘉麻市教育行政の発展に役立てていきたいと思っております。

最後に、今回点検評価に参加・ご尽力くださいました委員の皆様にご心よりお礼を申し上げ、今後とも嘉麻市行政にご協力をお願いいたします。

《 資 料 》

嘉麻市教育委員会点検評価実施要綱

[平成21年嘉麻市教育委員会要綱第6号]

(趣旨)

第1条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第27条の規定に基づき、嘉麻市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が実施する事務の点検及び評価について、必要な事項を定めるものとする。

(点検評価事項)

第2条 教育委員会は、前年度の教育委員会の事務の管理及び執行の状況について、次に掲げる事項の点検及び評価（以下「点検評価」という。）を行う。

- (1) 教育委員会の会議の実施状況等に関すること。
- (2) 教育委員会の主要な施策に関する執行の状況及びその成果に関すること。

(点検評価の方法)

第3条 教育委員会は、点検評価を実施するに当たり、別に定める評価表により教育委員会事務局において、その所管する事務事業等の自己評価を行わせるものとする。

- 2 教育委員会は、前項の自己評価の結果について評価の客観性を確保するため、嘉麻市教育委員会点検評価委員（以下「評価委員」という。）を設置する。
- 3 教育委員会は、評価委員の意見を踏まえ、教育委員会の会議において最終的な点検評価を行う。

(評価委員)

第4条 評価委員は、10人以内とし、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

- (1) 嘉麻市議会議員
- (2) 嘉麻市PTA連合会委員
- (3) 嘉麻市社会教育委員
- (4) 嘉麻市公民館運営審議会委員

- (5) 嘉麻市立図書館協議会委員
- (6) 嘉麻市立織田廣喜美術館運営協議会委員
- (7) 嘉麻市体育指導委員
- (8) 嘉麻市文化財保護審議会委員
- (9) その他教育委員会が適当と認める者
(議会報告等)

第5条 教育委員会は、第3条第3項に規定する点検評価の結果に関する報告書を作成し、毎年、嘉麻市議会に提出するとともに、次に掲げる方法で公表する。

- (1) 嘉麻市公式ホームページに掲載
- (2) 報道機関に提供
- (3) 教育分室等での閲覧
(庶務)

第6条 点検評価の実施に関する庶務は、教育部教育総務課において処理する。
(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、点検評価の実施に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この要綱は、平成21年7月8日から施行する。

平成 2 2 年度嘉麻市教育委員会点検評価委員名簿

(評価対象年度.....平成 2 1 年度)

	団 体 名	氏 名	備 考
1	嘉麻市議会議員	田 淵 千恵子	教育総務課
2	嘉麻市 P T A 連合会委員	藤 春 康 彦	教育総務課
3	嘉麻市社会教育委員	楳 ひろ子	生涯学習課
4	嘉麻市公民館運営審議会	印 藤 ハツエ	生涯学習課
5	嘉麻市立図書館協議会	伊 藤 恵美香	生涯学習課
6	嘉麻市立織田廣喜美術館運営協議会	松 岡 修 一	生涯学習課
7	嘉麻市体育指導委員	山 方 国 和	生涯学習課
8	嘉麻市文化財保護審議会	香 月 靖 晴	生涯学習課

嘉麻市教育委員会点検・評価報告書
(平成21年度事業分)

発行 嘉麻市教育委員会
(お問い合わせ先)
嘉麻市教育委員会教育部教育総務課
〒820-0392 福岡県嘉麻市大隈町7-3-3番地
TEL 0948-57-3198

発行年月 平成22年9月